

千種生活圏の拠点づくりの考え方 【資料編】

平成 30 年 8 月

宍 粟 市

もくじ

■ 資料編

1 千種生活圏の拠点づくり検討委員会 会議録	1
(1) 第1回 検討委員会	2
(2) 第2回 検討委員会	9
(3) 第3回 検討委員会	16
(4) 第4回 検討委員会	23
(5) 第5回 検討委員会	26
(6) 第7回 検討委員会	30
(7) 第8回 検討委員会	37
(8) 第9回 検討委員会	45
(9) 第10回 検討委員会	49
(10) 第11回 検討委員会	54
2 視察記録（第6回 検討委員会）	58
【鳥取県西伯郡南部町】【島根県松江市八雲地域】		

資料編

1 千種生活圏の拠点づくり検討委員会 会議録

(1) 第1回 検討委員会

1 開催日時	平成29年8月8日(火) 14時00分から16時15分	
2 開催場所	センターちくさ 4階 大ホール	
3 出席委員 (敬称略)	船曳順市、亀井欣也、藤原隆、森井俊二、鳥居薫、波多野好則、猶原一典、金本まみ、 金本己世始、鳥羽敏美、清水一女	(欠席委員) 杉本千里、井岡陽子
4 事務局出席者	企画総務部：坂根部長、上長次長 千種市民局：幸福局長、清水副局長、中井主査 地域創生課：山本課長、原係長、前田主査	
5 議題等	1 委員長・副委員長の選任 (4)「生活圏ネットワーク構想」について 2 報告・協議事項 (5)「一宮生活圏の拠点づくりの考え方」(参考)について (1) 委員会の運営に関する事項について (6) 千種市民局周辺の施設配置について (2) 地域の人口動態について (7) 意見交換 (3) 穴粟市地域創生総合戦略とアクションプランについて	
6 議事要旨		
千種市民局長	1 開会 2 あいさつ 本委員会に多数出席いただきありがとうございます。地域創生の取組が本格化し、一宮町では昨年より生活圏の拠点づくりを進めていますが、千種町は今年度から計画づくりに取組むこととなります。 千種町の人口は2,900人を割り込んでおり、地域の拠点をどのように形成していくかについて、単純な施設整備ではなく、千種町の現状を十分把握しながら、将来に引継げる拠点としていきたいと考えています。 本日は、いろいろと説明させていただくこととなりますが、委員の皆様から意見をいただきながら計画づくりを進めていきたいと考えていますので、よろしくお願いします。 3 委嘱状の交付 (委員自己紹介)	

委員長	<p>4 委員長・副委員長の選任 委員長に船曳順市氏、副委員長に亀井欣也氏を選任 (委員長あいさつ) 本委員会ですといったことを話し合っていくのかについて、委員全員が理解していくところから始めなければならないと思っている。最年長者ということで長年の経験から委員長に選んでいただいたと思う。経験を活かしながら千種のまちづくりについて、皆さんと考えていきたい。老人会の会長も務めており、老人会の会員は毎年増えているが、子どもの数が増えない状況にある。委員として入っておられる子育て世代の方など若い方々に参加していただきながら、まちづくりを進めていく必要があると思っている。日本全体で高齢者が増加し、介護する人が減っている状況で、この千種町をどのようなまちにしていくのが一番いいか、皆さんと知恵を絞りながら素晴らしいまちづくりをしていきたいと考えているので、よろしくお願いします。</p>
副委員長	<p>(副委員長あいさつ) 重大な事案に関わることとなり、責任感を感じている。本委員会での意見がどの程度計画に反映されるかわかっていないので、すでに決まっている部分と、これから話し合っていて決めていく部分を明確にさせていただきながら、事務局には進めていただきたい。委員長と副委員長は議事を進行しながら委員として意見も言っていくこととなるので、皆さんの理解と協力をお願いします。</p>
事務局	<p>5 報告・協議事項 (1) 委員会の運営に関する事項について 【資料1】【資料2】により説明</p>
委員	<p>千種生活圏の拠点づくりは、庁舎の建替えが前提となっているのか。</p>
事務局	<p>市民局庁舎及びセンターちくさは老朽化しており、施設の更新は避けて通れないと考えていますが、本委員会では、施設の建替えだけではなく、地域の人口が減っていく中で、住みやすい地域づくりや、どのように利便性を継続していくかについて議論していただきたいと考えています。</p>
委員長	<p>千種町全体のまちづくりをどのようにしていくかという話であるので、施設の整備で終わるのではなく、千種生活圏の実態を拾い上げながら、それが施設の整備に繋がればよいのではないかと思う。</p>
事務局	<p>(2) 地域の人口動態について 【資料3】により説明</p>

事務局	<p>(3) 宍粟市地域創生総合戦略とアクションプランについて 【資料4】により説明</p>
事務局	<p>(4) 「生活圏ネットワーク構想」について 【資料5】【参考資料】により説明</p>
事務局	<p>(5) 「一宮生活圏の拠点づくりの考え方」(参考)について 別資料「一宮生活圏の拠点づくりの考え方」を計画づくりの参考イメージとして紹介</p>
事務局	<p>(6) 千種市民局周辺の施設配置について 【資料6】により説明</p>
委員長	<p>(7) 意見交換 今から5年先、10年先を考えると、農協のAコープや千種高校がなくなっている可能性がある。これらの施設がなくなれば千種町は大変なことになるが、そういったことも考慮しながら、千種のまちづくりはどうあるべきかについて意見を聞かせていただければありがたい。参考資料「一宮生活圏の拠点づくりの考え方」では、子育て世代や生涯学習に関しては触れてあるが、高齢者にはあまり触れていないように思う。また、人口が減少していく中で、地域創生事業が大事になってくると思うので、そのことも勉強していただきながら、意見をだしていただければよいのではないかと思います。</p>
事務局	<p>行政施設が老朽化し、建替え時期がきている中で、いったん整備すれば30~50年その施設を使っていくことになります。同じ施設を整備するのではなく、市民に使っていただきやすく、利用して喜ばれる施設にしていくために、本委員会で意見をお聞きしたいと考えています。すべての期待に応える施設を整備できるわけではありませんが、最大限意見を尊重し、それに近い施設を整備していきたいと考えていますので、そういった視点で意見をだしていただければありがたいです。</p>
委員	<p>一宮町では先行して設計など進めておられるが、千種町ではいつまでに建替えをしなければならないなど期限はあるのか。</p>
事務局	<p>【資料5】のとおり、想定しているスケジュールはあります。地域創生総合戦略の計画期間は5年間で、平成27年度にスタートし、できるだけ早い時期に地域づくりの態勢を整備していこうということで、平成31年度中での完成を目指していくこととしています。ただ、どうしてもこのスケジュールで進めなければいけないわけではなく、本委員会をはじめ、地域でも意見をいただく中で、よりよい拠点整備ができるスケジュールを検討すべきと考えています。</p>

委員長	<p>最終的には施設を建てるということだが、これまでは建てる内容が決まってから説明があるということであったが、今回は、地域の想いを活かし、地域がどのように活用するかを考えながら建てていくということなので、委員の意見が大事になってくる。今後、委員は1人で抱え込まず、千種町の将来に向けてどのような機能があればよいか周囲の意見も聞きながら意見をだしていただければよい。今日のところは気軽に発言いただければよいので、よろしくお願いします。</p>
委員	<p>電車がないので、拠点施設にはバスターミナルが必要となる。これから先、買い物の仕方が変わり、自動運転技術なども発達していると思うが、ローソンのように24時間営業を考える必要がある。施設は今よりも少し大きくしてもいいが、用事をすませやすくするため、周辺施設の集約化を考える必要がある。また、海水面が上がっても、施設まで水がくることはないので、高さは必要ないかと思う。</p> <p>千種町は自然を活かしていくべきだと思う。二酸化炭素の取引まではできないかもしれないが、治山を進めることで酸素や水を売るということを考えるべき。市の計画には森林を創るとあるが、森林を創ると水ができる。千種町は「川魚に親しむまち」というキャッチフレーズがあったが、安定して水がないことが原因で、釣りをする人も少なくなっている。企業誘致は難しいと思うので、水を商売にしていくことを考えてなくてはならない。</p> <p>50年も先のこととなると、どうなっているかわからないので、今あるだけの知識だけでいいのかという思いもある。昔の流行りも今みると古くさい感じがするので、相当に奇抜なことをしてもいい。ドローンやAI、自動運転なども考えてもいいのではないか。</p>
委員	<p>千草自治会では公民館がなく、総会などセンターちくさを利用しているので、施設の建替え時は考慮いただきたい。また、これからの委員会では、地元の役員にも意見を聞いて話をしていきたい。</p> <p>30年以上も先になると、かなり高齢化が進んでいる。私の子どもが姫路に家を建てて住んでいるが、私がいなくなり、妻が独りになったときに、子どもに姫路に来よう言われれば、住み続けるかどうかわからない。千草は商店街があり、生活しやすいが、集落部では豪雪などで身動きできなくなることもある。無理かもしれないが、室内を仕切ってシェアハウスのように使うことができる施設になればよい。</p>
委員	<p>センターちくさでコーラスの練習をしているが、ホールは文化交流の場として大事だと思っている。ホールが良ければ演奏会やいろんな人を呼んでイベントも開催できる。良いピアノが設置してあるので、ステージをもう少し広くしてほしい。</p> <p>センターちくさにミラーボールがなぜあるのかと思っていたら、昔は披露宴会場として利用していたらしく、そういう時代もあったのかと思う。いろんなことを考えて、意見をだしあって反映していかないといけない。</p>
委員長	<p>昔はセンターちくさで結婚式をしていた。エーガイヤにも居住機能があり、過去に1組だけ使われたそうだが、あまり知られていない。こういった機能の活用も考えていいと思う。また、ミニ文化会館を1階にして2階を庁舎機能にしてはどうかなど、夢のようなことも話しながら考えていければいい。</p>
委員	<p>エーガイヤは保健・医療・福祉など地域包括ケアの拠点として市民に親しまれている。新たな拠点づくりの前にエーガイヤの拠点について</p>

事務局	<p>て、宍粟市がどう考えているのかお聞きしたい。</p> <p>エーガイヤは地域の拠り所になっていると思っています。診療所が併設し、複合的な施設として運営しています。一宮町では、一宮保健福祉課までの距離が少し離れていたため、利便性を高めるために市民局庁舎に含めて考えています。千種町では、保健福祉課を移設するかについて方向性をだしていませんが、施設に定着していると思っています。</p> <p>また、施設ではなく、拠点同士を合わせる仕組みを作っていくことが大事で、どのサービスをどこで受けたいか。そのために、どんな仕組みが望まれているかを考えると、必ずしも一緒になければいけないわけではないと考えています。エーガイヤという施設は活かしていきたいという思いをもちながらも、もっとこんな方法があるといった意見があればいただきたいと考えています。</p>
委員	<p>一宮町の拠点づくりでは、一宮保健福祉課が市民局に入るという方向性だと事務局からいわれている。社会福祉協議会が残される状況になるわけですが、千種町でも千種保健福祉課が新たな拠点づくりにいくと、残されている立場の拠点をどう保っていくか、一宮町もそうだが、エーガイヤも老朽化していく中で、同じ方向で考えてもらわなければ、現実的にどうしようとなるので、一緒に考えていただきたい。</p>
事務局	<p>拠点としては、ある程度の距離感があるものを想定しています。広い市域において、小売店や郵便局、銀行などがあり、コンパクトな範囲で目的をすませるように、概ね1 km程度のイメージをもっています。一宮町と千種町では、その距離感が異なっていることを前提として話をさせていただいてはどうかと思います。</p>
委員	<p>ふるさと芸能大会や結婚式など千種町の皆が楽しいことができるような交流の場として、山崎文化会館のように音楽や芸能大会などができるホール機能が充実すればという思いがある。</p>
委員	<p>確定申告のときなど、必要な証明書を揃えるために市民局とエーガイヤを行き来しなくてはならず、高齢な方にはとり忘れもあり、何度も行っていたことがある。千種保健福祉課が市民局と一緒にならなくても、市民局とエーガイヤの千種保健福祉課にいったときに必要な書類をその場で揃えることができる体制を構築してほしい。また、千種には娯楽施設がないので、皆が一同に介して楽しめる場所づくりをしてほしい。</p>
委員	<p>拠点づくり計画のことを、いろんな地域・年代の人に知ってもらうための方法を考えていただきたい。地域のいろいろな人に計画づくりがどう進んでいるのかという報告と、意見を聞くことができる場を作ってください、多くの人と考えながら、拠点づくりの話が進めていけるような会になればいい。</p>
委員	<p>防災面では庁舎が必要だと思うし、先ほどから文化や交流について話がでているが、千種町にいけばあんな施設があるということで、市</p>

<p>委員長</p>	<p>内からも利用しに来ていただけるような機能があればよい。</p> <p>エーガイヤは、健康づくりのエリアにしようと診療所を移転し、行政の福祉部門と社会福祉協議会も入っている。市民からすると行政と社会福祉協議会の福祉に違いはないので、内容によって、利用者を振り回すことがないよう、すぐに繋げる体制が大事になってくる。</p> <p>また、文化・娯楽施設が千種町にないので、施設を建替えるときは、そんな場所がほしいという希望は持っている。1つの声として聞いていただきたい。</p> <p>委員から意見がでて多くの人の意見を聞くことについては、必要なことだと思うが、聞くばかりでなく、まとめていかなければいけない。それらの声をまとめてほしいということで委員を委嘱されているので、委員が多くの人の意見を吸い上げていただき、この場に意見として反映していただければと思う。</p>
<p>事務局</p>	<p>今の波賀市民局を建築するときにも、この委員会と同じようなプロジェクトチームがありましたが、設計業者の意向を理由にプロジェクトチームの意見が反映されませんでした。そのことにより、使いにくいところが残った施設整備になってしまったという経験をもっています。また、平成27年度に計画した「どがいじゃろえ地域プラン」は、千種町の中心部や隣接する自治会からの意見をとりまとめて掲載しています。決定事項ではありませんが、同計画には市民局庁舎やセンターちくさ及びその周辺整備についても意見をいただいていますので、これから拠点づくりを考えていただくにあたり、参考に見ていただければと思います。</p>
<p>事務局</p>	<p>先ほどの一宮町の社会福祉協議会の件は、健康福祉部と調整しているところですので、結果についてはご報告させていただきます。また、一宮町の場合は、企業や郵便局、JAなど拠点への参加を呼びかけており、その他にも35歳以下の消防団員との座談会など予定しています。具体的にどんな施設ができるかはこれからになりますが、現在、設計コンペをしているところですので、今後、ふれあいミーティングなどを通じて各種団体や地域の方々から意見を聞かせていただきながら、進めていこうとしています。</p>
<p>委員</p>	<p>生活圏の拠点づくりについて、地域で説明を聞きたいということになれば、宍粟市のふれあいミーティングで説明にきていただくことができるか。また、簡単でわかりやすい資料でお願いしたい。</p>
<p>事務局</p>	<p>ふれあいミーティングで依頼があれば、説明に伺います。</p>
<p>事務局</p>	<p>6 その他</p> <p>(1) 各団体構成員の皆様への幅広い周知について</p> <p>事務局としても拠点づくりについて幅広く意見をいただき、ホームページや広報などを使って早めに情報をお知らせしたいと考えていますが、昨年開催しました一宮町の検討委員会では周知不十分ではないかと指摘を受けているのも事実です。本日の会議資料はホームページで直ちに公開するとともに、会議録は1ヶ月ほどかかりますが、委員の皆様を確認していただいた後、同様に公開していきます。</p>

副委員長	<p>宍粟市からも機会があるたびに情報発信していきますが、口コミが有効だと思います。委員の皆様は各団体の代表でできていただいておりますので、各団体へ持ち帰っていただき、ふれあいミーティングという形で説明させていただく制度もありますので、幅広い周知に協力をお願いします。</p> <p>(2) 次回の開催日程について</p> <p>7 閉会</p> <p>まちづくりというテーマでは話が大きくなりすぎますので、今後は的を絞って話し合っていければと思います。本日はお疲れ様でした。</p>
------	--

(2) 第2回 検討委員会

1 開催日時	平成 29 年 9 月 6 日 (水) 15 時 00 分から 16 時 30 分	
2 開催場所	センターちくさ 4階 大ホール	
3 出席委員 (敬称略)	船曳順市、亀井欣也、藤原隆、森井俊二、鳥居薫、波多野好則、猶原一典、金本まみ、金本己 世始、鳥羽敏美、清水一女、杉本千里、井岡陽子	(欠席委員)
4 事務局出席者	企画総務部：坂根部長、上長次長 千種市民局：幸福局長、清水副局長、村上副課長 地域創生課：山本課長、原係長、前田主査	
5 議題等	1 他の地域での取組事例について 2 「千種生活圏の拠点づくり」の進め方について 3 委員会における協議状況の周知について	
6 議事要旨		
委員長	<p>1 開 会</p> <p>2 あいさつ 皆さん、おつかれさまです。だんだんと秋らしくなり、稲刈りも始まりました。本日は前回ご欠席であった子育て世代の委員にもご参加いただき、会場にもお子さんの姿が見えますが、こういった中でより現実的な議論が出来るのではないかと思います。 前回は「この会議で何を言ったら良いのか？」と思われた委員も多かったと思いますが、“小さな拠点づくり”という事で、まさに今日、会場に見えるような子ども達の将来を思い描きながら、会議を進めて行きたいと思ひます。 今日は前回の会議のあらましを振り返ったあと、今後、この会議をどのように進めていくか、という事に主眼をおいて議論を深めて行きたいと思ひます。有意義な会合となりますよう、ご協力をお願いします。</p> <p>事務局より資料の確認 杉本委員、井岡委員 自己紹介</p>	
委員長	<p>3 協議事項 (1) 前回協議の確認について 事務局より第 1 回会議録の説明</p> <p>事務局より説明がありました。前回の協議内容について追加や修正、その他の意見はありますか。</p> <p>— 意見なし —</p>	

事務局	<p>それでは議事を進めます。</p> <p>(1) 他の地域での取組事例について 前回の会議でも、この会議で議論する“生活圏の拠点づくり”という事について、まずは委員全員での共通理解を深めましょうというお話があったと思います。そのきっかけとして、本日は島根県が作成されている“小さな拠点づくり”に関する映像をご覧くださいと思います。</p> <p>比較的小さな集落での事例が出てきますが、これをそのまま真似するのではなく、今後は千種独自の方策を検討していく事になると思います。あくまでも、一つの参考としてご覧頂ければと思います。</p> <p>島根県作成による映像資料『中山間地域で安心して暮らし続けていくために ～始まっています。小さな拠点づくり～』の上映</p>
委員長	<p>(3)「千種生活圏の拠点づくり」の進め方について 島根県での取組事例を見ていただきました。このような事も視野に入れながら、検討していくという事でご理解頂ければと思います。島根県は全国で最も早く高齢化が進んだ地域である一方、近年、最も多く地域外からの移住者を受け入れている県だそうです。そういった意味で進んだ地域だと思えます。</p> <p>そのような事も踏まえて今後、議論を進めて頂く訳ですが、私としてはこの会に少しでも多くの皆さんのご意見を取り入れて行きたいと考えています。例えば小・中・高校生のお子さんをお持ちの親御さんや、まちづくり推進委員会のメンバーなどに、この委員会に加わって頂く事も考えられますが、如何でしょうか。</p>
企画総務部長	<p>今、委員長の方から、より多くの皆さんのご意見を取入れて行きたいというご提案がございました。現在、この委員会は13人の体制でスタートをさせて頂いた訳ですが、事務局としてはこの人数に拘るものではありません。市としても出来るだけ沢山の人の意見を伺いたいと考えておりますので、その方向で調整をさせて頂ければと思います。</p>
委員長	<p>それでは事務局とも相談させて頂いて、次回からそのような方向で進めさせて頂ければと思います。</p> <p>これまでの所を踏まえて、ご意見をお聞かせ頂ければと思いますが如何でしょうか。</p>
委員	<p>私は子育て世代を代表して参加していますが、小中学生の状況や学校のことは良く分からないので、是非、そういった親御さんのご意見も伺いたいと思います。</p> <p>子どもの事に関しては、引っ越してきて一番困ったのは、近くに小児科・耳鼻科がない事です。買い物とか遊びは車があるので、ある程度出かけて行けますが、子どもの病気は一刻を争う事もあるので、やはり専門の先生に診て頂けると安心です。</p> <p>また、例えば高校なども、自分の娘がどこに行くのか考えた場合、通える範囲は限られてくると思います。寮に入れば通えると思います</p>

	<p>が、親としては近くに居て欲しい気持ちもあります。</p> <p>そうなると交通の便が課題となりますが、その事は高齢者の皆さんにとっても同じだと思います。将来的には千種高校が無くなるかも知れないというお話も聞きます。これからの子ども達は、いろんな人と関わって、大人数の仲で成長していくことも大切だと思いますので、その為の取組を今から地域を挙げて進めて行ければと思います。また、その事は若者の1ターンやUターンにも繋がると思います。</p> <p>あと希望としては、習い事などもピアノや英語、体を動かす活動など、幅広い選択肢から選べるようになれば良いと思います。例えば外から先生を呼んで、いろんな経験が積めるようになればありがたいです。今は姫路の幼児教室に通っていますが、やはり通うのは大変です。ただ、幼少期の吸収力はすごいので、この時期の体験は本当に大切だと思います。</p> <p>また、現状では子どもを保育所預けても、すぐに発熱で呼び出しがあったりして、お母さん達もなかなか外に働きに行けない状況があります。例えばこれから作っていくセンターの中で、貸し出し用の部屋をつくってもらって、ママさん同士が助けあったり、教えあったり出来る場所があれば良いと思います。</p> <p>千種は買い物、交通の便が整えば、凄く住みやすいまちだと思います。これから大きくなる子ども達が、世界に羽ばたいて行けるように、何かしてあげられればと思います。</p>
委員長	<p>ありがとうございます。実感に迫るお話だと思います。私も孫が小さい時に、夜中の12時を過ぎてから、姫路の救急病院へ連れて行ったことがあります。現状では千種の中には小児科や耳鼻科がありませんので、実感として良く分かります。この事は拠点づくりの中だけでは解決出来ないかもしれませんが、ご意見としては大いに参考にして行きたいと思います。</p>
委員	<p>私は一宮に住んでいますが、小中学生の子どもが居ますので、先ほどのお話を聞いて、どこも町も同じような課題を抱えていると思いました。本当に身近な所に多くの課題がありますが、今からの議論の中で課題、夢、話題を出していくために、ワークショップのような形で一人ひとりが書き出してみるという作業も必要では無いかと思います。</p> <p>話すだけだと時間も掛かりますし、書く事によってアイデアが整理出来たり、話が苦手な方も意見を出し易くなったりする事があると思います。また先ほどの映像は小さな集落の事例でしたが、ワンストップサービスの事例という事で、まさに社会福祉協議会の取組にも通じるものがあると思います。今後も適宜、議論のネタになるような取組をご紹介頂きながら、計画的に議論を進めて行ければと思います。</p>
委員長	<p>今のご意見に関連して、事務局では会議の記録を議事録としてまとめて頂くことも大切ですが、これまでに出了意見や今後出てくる意見を一覧で見られるように、まとめて整理してください。</p>
事務局	<p>承知しました。</p>
委員	<p>千種は山間地ですのである程度、不便なのは仕方ないとして、良い面も沢山あると思います。例えば診療所には小児科はありませんが、待たずに診てもらえるというメリットがあります。総合病院なら半日から丸一日係る場合もあります。おじいちゃんがケガした時には時間</p>

	<p>外でも診てもらった事もあります。</p> <p>また、子ども園も大変ありがたい施設だと思います。山崎では保育園の園外保育の際に、二人の先生が沢山の子どもさんを連れて移動している場面を見たりしますが、千種の子ども園では子ども一人あたりの先生の数が手厚く、充実していると思います。</p> <p>図書館も便利で、読みたい本が直ぐに借りられます。都会では直木賞や芥川賞受賞作品など、2年ぐらい待たないと借りられない場合がありますが、千種では直ぐに取り寄せてもらえます。</p> <p>水がおいしい事も地域の魅力だと思います。水は暮らしていく上で最も大切なものだと思いますので、都会からも汲みに来る人がいる水は地域の自慢だと思います。</p> <p>英語やピアノも習うことが出来ます。現在、高齢者大学で童謡コーラスに参加していますが、お母さん世代や子ども達など、3世代で楽しめるようになればより良いと思います。先ほどの事例は高齢者の方の話題が沢山ありましたが、50年先を考えるならば「田舎だから田舎を参考にする。」というだけでなく、夢のあるような取組、「千種に行ったら凄いものが見られる。」というような施設が出来れば良いと思います。</p>
委員	<p>先ほどの事例に関しては、どこも同じような課題を抱えていて、なかなか抜け出せない状況があるんだなという印象を受けました。成功事例を真似すれば良いというものではないですし、大きな変化というよりも、少しずつ、じわじわと変えていく取組が必要なのかも知れないと思いました。</p> <p>また、郵便局のお話をしますと、何とか地域での雇用を維持出来るよう取り組んではいますが、やはり人口減少や少子高齢化の影響で社員数は減少傾向にあります。</p> <p>例えば和歌山県の飛び地の北山村では、村がコンビニを運営して、郵便局が宅配を行っているような事例もあります。地域で仕事を生み出すために、また地域の生活を維持していくためにも、新しい取組を事業として発信していく事が大切だと思います。10月からは郵便局でも電話を使った見守りサービスが始まります。</p> <p>元々、この会議に参加する時には、単純に市民局の建替えに関する議論が主になると考えていましたが、実際には将来の地域運営を見据えた議論という事で、様々な意見が出されるのは良い事だと思います。ただ、出た意見はしっかり反映してもらいたいと思います。市の方で何らかの形で残してもらって、前回の会議でもありましたが、意見だけ聴いて結局業者が作ってしまったという事にならないようお願いしたいと思います。予算的な事もあると思いますが、平成17年の合併以降、やはり旧4町間の格差も感じます。地域が小さいから予算を削るというのではなく、千種の皆さんの意見もしっかりと市の中に取り入れて頂ければと思います。</p>
委員長	<p>皆さんの意見はしっかりと責任をもって反映したいと思います。それがどこまで実現できるかという点については限界もあるかとは思いますが、これだけの方々に集まってもらって話し合いを持つ以上、市の方にもしっかりと受止めて頂きますので、その事は自信と確信を持って、夢や希望を話して頂きたいと思います。</p>
委員	<p>会議の進め方として、個々に意見を言い合うと前回と同じ意見になると思います。そしてまた次回も同じ事の繰り返しという事で、なか</p>

委員	<p>なか進展が無いと思います。 自治会など幅広く意見を聴く事も大事ですが、既に一宮の「生活圏の拠点づくりの考え方」が示されているので、これをベースにしてはどうかと思います。これの良い所は取入れる、悪いところは改善するという事で、たたき台として活用すれば良いと思います。</p> <p>今回の会議でも「今日のテーマこれ」といった指定はありませんので、子育ての話や高齢者や主婦の皆さんなど、それぞれの立場で意見が出されるのは良いことだと思います。</p> <p>一方、自治会の役員会でこの話をするとしても、広報を配って書かれている事を説明するぐらいで、意見を聴くところまではなかなか行きませんので、出来れば無作為にアンケートをして頂いて、その意見集約も行って欲しいと思います。</p> <p>私たちが意見を述べても同じことの繰り返しになる事も考えられますので、より幅広く意見を聴くことが出来れば素晴らしいアイデアも出てくるのではないかと思います。</p> <p>先ほど島根県の事例を見させて頂きましたが、千種でも近い将来起こり得る状況だと思います。それぞれの立場で皆さんの思われる、「こういった事ができたらいいな。」という意見を取りまとめて頂ければと思います。</p>
委員長	<p>毎回の議論の中で「今日はここまで進んだ。」というような整理は難しいわけですが、回数を重ねる毎に新しい意見を足していきながら、最終的にまとめることが大切だと思います。似たような意見が沢山出るかも知れませんが、議論が深まると、少しずつ意見も変わってくると思いますので、それぞれの立場でお話を聞かせて頂ければと思います。</p>
委員	<p>皆さんのご意見の中でいろんなことが求められると思いますが、災害に強い施設という視点も大切だと思います。山や川が近くにある、場所的にいろいろなリスクもあると思いますので、まずは災害に強い事を基本として、いろんな機能を盛り込んで頂ければと思います。</p>
委員	<p>前回の会議後、この委員会について地域の中で話したとき、地域の皆さんはまだ、「生活圏の拠点づくり」を自分の事としては捉えられていないようでした。委員 13 人の議論だけでは千種全体に広がって行かないので、もっと周知する方法を考える必要があると思います。アンケートを取るのも一つの方法だと思います。いろんな方法で「千種のまちを良くしていくために、みんなで考えて、みんなで作ろうな。」という意気込みを伝えて欲しいと思います。</p> <p>また、子育て環境に関しては、昔の千種の子育て環境は非常に良かったと思います。診療所は外科と内科の先生だけでしたが、専門以外のことで連れていっても一生懸命本や電話で調べて頂いたりして、ありがたかった思い出があります。</p> <p>習い事もピアノや英語、習字など、子どもが「習いたい」と言えば、大概のものはあったと思います。今もそういった取組をされている方もありますので、まちづくり推進委員会が発行している「ええとこ通信」や「ええとこセンター」などを活用して頂きながら、今のお母さん達とも情報を共有できればと思います。</p>

委員	<p>消防団の立場からの意見ですが、まず第1に庁舎として確実な避難所機能を備えて頂きたいと思います。宿泊や炊出しの機能も重要です。今の小学校では出水の際には非難できないので、確実に非難できる場所として確保して頂きたいと思います。</p> <p>また、センターは第2機動分団の車庫も兼ねていますので、新たな拠点の位置としてはこの場所で確保して頂けるようお願いしたいと思います。</p> <p>また、以前はこのホールで青年祭の催しが開かれていたりしました。規模の大きなイベントや、5~6人のサークルでの普段使いなど、いろいろな用途に使えるホールを備えて欲しいと思います。</p> <p>他にも要望は出てくると思いますが、差し当たり消防団としての意見として述べさせて頂きました。</p>
委員	<p>前回の会議後、市民局の建替えの話を他所でした時に「それだったら支店に入れて欲しい。」と言われた方がありました。もしかしたら、そういう意見の方もあるかも知れないので、もっと早くにいろんな人に情報を提供すべきじゃないかと思いました。</p> <p>また、先ほどの子育ての話を聞いても、やはり千種は市内でも一番奥にあり、人数も少なく、雪も多いなど不利な条件にあると思います。働くところも少なく若者が定着できない状況もあると思いますので、何か「千種に住むと良いことがある。」というような事を考えて欲しいと思います。例えば水道料金や給食費など、何かしら特化してもらえれば、若い人達の定住化にも繋がると思います。</p>
委員	<p>千種はせっかくコンパクトなまちですが、世代間の交流はあまり盛んではないと思います。近所で歩いていて道で会うことはあっても、子ども達と、おじいちゃんおばあちゃん世代が、自然と繋がれるような場所は無いので、そういう場があると良いと思います。</p> <p>先日、西脇のニフレルという施設に行きましたが、高校生が勉強していたり、子ども達が遊んでいたりと、おじいちゃんおばあちゃんが図書館で本を読んでいたりと、開かれた空間の中で世代間の交流が生まれていて、良いなと思いました。新しい拠点施設もそんな場所になれば良いと思います。</p>
委員長	<p>千種は昔から一村一町としてコンパクトに発展してきた経緯があり、他の町域と比べても、まとまり易い地域性があると思います。そんな地域性を活かしながら、千種だから出来る拠点づくりを考えて行ければと思います。</p> <p>他にご意見はございませんか。</p>
企画総務部長	<p>ただ今、様々なご意見を頂きました。中には施設が出来た後の運用のヒントになるような話も聞かせて頂いたと思います。例えば習い事や学習環境づくりについては、現在、ここの一階にある生涯学習事務所がその一端を担っているわけですが、将来的にはその利用団体や子育て団体の皆さんが、それぞれに企画をされて、その実践の場として市民協働センターを位置づけるという事もあるのかなと思いました。そんな新しいやり方のヒントを頂いたように思います。</p> <p>次に「千種生活圏の拠点づくり全体スケジュール検討資料」について、ご説明させて頂きたいと思います。前回の会議資料では、3月までの間に計6回程度の委員会で一定の考え方をまとめて行きたいというご提案をさせて頂きましたが、それでは難しいのではないかとのご意見を頂いた所です。</p>

	<p>その点について正副委員長ともご相談させて頂き、修正した案でご提案をさせて頂きたいと思います。内容としては少し協議の期間を延ばして、来年6月を目途に先ほどご議論頂いたような、千種生活圏の将来像についての考え方を整理して行ければと考えております。その後、具体的な施設整備のお話へと議論を進めて行きたいと考えております。</p> <p>その下に記載しております、施設整備の所用期間につきましては、少しでも有利な財源措置を行う観点から、平成33年の3月を目標にさせて頂きたいと思います。</p> <p>そういった形で回数には拘らず、差し当たり来年6月を目途に議論を深めて頂ければと思いますので、よろしくお願い致します。</p>
委員長	<p>ただ今、企画総務部長からスケジュール案の説明がありました。荒々の目標期間は設ける訳ですが、来月や再来月に何かまとめようという話ではありません。ゆっくりと意見を出し合いながら、まとめて行きたいと思いますので、よろしくお願い致します。</p>
事務局	<p>(4) 委員会における協議状況の周知について 事務局より委員会広報チラシ「千種生活圏の拠点づくり検討委員会便り」の説明 この広報チラシと合わせて、先ほどお話のありました広くご意見を伺うためのアンケート用紙についても、次回の広報誌と一緒に配布させて頂きたいと思いますが、よろしいでしょうか。</p> <p>— 一同了承 —</p> <p>4 その他</p> <p>5 閉 会</p>
副委員長	<p>先ほどお話のあった習い事に関しては、生涯学習事務所でも企画して取組んで頂いていたり、映像で見たような事例については社会福祉協議会がそれに近い取組を進めていただいたりしています。また、まちづくりに関してはまちづくり推進委員会で活発に取組んで頂いていますので、そういった実践を行われている皆さんからお話を伺う機会も設けて頂ければ、話が進むのではないかと思います。</p> <p>また今回は子育て世代の皆さんにもお越しいただいて、新しい視点でのご意見を頂けたことは大変良かったと思います。今回は前回に比べて着実に話が進んだと思います。次回はさらに踏み込んだ議論となりますようご協力の程、よろしくお願い申し上げます。本日は誠にありがとうございました。</p>

(3) 第3回 検討委員会

1 開催日時	平成29年10月3日(火) 18時00分から19時45分	
2 開催場所	センターちくさ 3階 中ホール	
3 出席委員 (敬称略)	船曳順市、亀井欣也、藤原隆、森井俊二、鳥居薫、波多野好則、猶原一典、金本まみ、金本己 世始、鳥羽敏美、清水一女、杉本千里、井岡陽子、磯崎伸彦、奥田慎一	(欠席委員)
4 事務局出席者	企画総務部：上長次長 千種市民局：清水副局長、村上副課長 地域創生課：山本課長、原係長、前田主査	
5 議題等	1 これまでの議論と意見の体系 2 【勉強会】千種まちづくり推進委員会の取組	3 【ワークショップ】検討委員会の工程表・地図づくり
6 議事要旨		
委員長	<p>1 開 会</p> <p>2 あいさつ 忙しい時間帯にもかかわらずご出席いただきありがとうございます。先日、千種高校からの依頼で高校生に漬物の漬け方を教える機会がありました。前回の委員会で、子どもとのふれ合いが少ないという意見がありましたが、老人会でも12月には小・中学生を対象にしめ縄づくりを教えており、いろいろな形でふれ合う機会があることを知っていただければと思います。 また、本日の委員会より、磯崎さんと奥田さんに新たに委員に加わっていただくことになっておりますので、よろしくをお願いします。</p> <p>3 委嘱状交付 清水副局長より新委員の磯崎氏と奥田氏に委嘱状を交付</p> <p>4 協議事項 (1) 前回協議の確認について 事務局より第2回会議録の説明</p>	
委員長	事務局より説明がありました前回の協議内容について質問や意見などはありますか。	
事務局	<p>— 意見なし —</p> <p>(2) これまでの議論と意見の体系 これまでの委員会での意見を一覧表にまとめ、類似の意見を整理しております。意見を整理すると議論の流れがわかりやすくなると思</p>	

	<p>ます。これがそのまま計画書になるわけではありませんが、来年 6 月までに委員会として方向性を打ち出していくために、この意見の体系に沿って議論を進めていってはどうかと考えています。</p>
委員長	<p>前回までの委員会で約 70 項目の意見がでており、事務局に一覧表にして項目ごとにまとめていただいています。このことについて、幅広く意見をいただければと思いますのでよろしくお願いします。</p>
委員	<p>生活圏の拠点におけるエーガイヤの役割・機能について、委員会での発言を振り返ると表現がおかしいと思います。新たな拠点ができる中で、老朽化していくエーガイヤについて、拠点をどう保っていくかという意見だったかと思います。現在、エーガイヤには千種保健福祉課もありますが、社会福祉協議会がどのように利用するかという表現になっております。確認をお願いします。</p>
事務局	<p>会議録を整理する中で、表現が趣旨と異なっていたのかと思います。訂正いたします。その他にもそういった点がありましたら、お願いいたします。</p>
委員	<p>これまでの意見では、どのように地域を変えていくかという話が主体だと思いますが、変えなくていいことがあってもいいのではないのでしょうか。</p> <p>例えば市民局の建物の一部や外観を残して建替えができないのかと思います。市民局は千種町のシンボルだと思いますし、何か残せるものがないのかなと思います。</p> <p>それと、建物を建てて維持していく上で、将来的な維持費を賄えないものかと思います。例えば、エーガイヤには居住機能があるということですので、平時は宿泊施設として使用し、災害など緊急時には地域の方に使用していただくなどしてはどうでしょうか。少し大きな話かもしれませんが、地域から若い人がいなくなっていますので、マンションのような形で使用し、維持費を賄っていくことなども考えてはどうでしょうか。</p> <p>大きな建物を建てて、将来の世代に負担を残し、無駄なものを建てたと言われたいのために、維持費を賄いながらできることを組み込んでいければよいと思います。</p> <p>また、地域の将来を考え、若者からも意見をもらうために、この委員会があると思いますが、委員会とは別に予算や施設規模について議論が進んでおり、職員を減らしても入る規模でいいのではないかという議論があるのであれば、それに対して、これだけのスペースが必要だということや、若者が施設でこんな活動をするので、このスペースを残しておかないといけないなど、10 年先にどんなことができるかわからないのですが、そのための理由付けを考えてはどうかと思っています。</p>
委員長	<p>実際に建物を建てることになれば借金をすることになると思いますので、様々な意見を反映できる建物にしていくことが大事だと思います。その中で無駄なものはつくり、今あるものは有効に使えばということかと思いますが、そのとおりだと思います。</p>

委員	<p>この委員会は、千種町の拠点をつくっていかうという委員会ですが、若者世代は、建物の話だけが先に進んで、人口が減ってしまっているという状況にならないようにしたいと思っています。</p> <p>現在、商工会は市内に4ヶ所にあります。本所の山崎と北部支所にまとまろうとしており、職員が減っています。市民局もそうなるのではないかと心配しています。建物先行の議論にならず、また建物も大きなものは必要ないかと思えます。一宮市民局ではその辺はどうでしたか。</p>
企画総務部次長	<p>一宮では、国土交通省の面積基準を採用して現状の職員数で執務室の面積を算出しています。同時に市役所内で意見を聞いているところで、相談室が不足するなどの意見も出ており、現在の計画より少し広くなると思います。</p>
副委員長	<p>建物を建替えるまでの期限がありますが、市では建設場所や規模をどのように考えておられるのでしょうか。今は、意見を言うだけになっていますが、実際にはどうなのか具体的に教えていただけて進めていってほしいです。</p>
企画総務部次長	<p>この委員会では、来年6月を目途に拠点づくりの計画書を作っていくことを想定しています。もし建物を建てるのであれば有利な財源である合併特例債を活用したいと考えておりますが、活用できるのは平成32年度までになります。他の財源としては過疎債があり、こちらも平成32年度までとなっています。過疎債は活用できる期間が延長される可能性もありますが、これらの財源がなければ、市の負担が大きくなりますので、財源のことだけで言えば平成32年度というのがひとつの期限となります。ただ、いろいろな方法がありますので、ご意見いただければと思います。</p>
事務局	<p>財源については、期限を決める必要がありますが、委員会の目的地が決まっているというわけではありません。最終的には市が決定することになりますが、いろいろな意見をいただく中で決めていきたいと考えています。</p>
委員長	<p>簡単に決められる話ではありませんが、すでに70項目の意見を出していただけており、これから意見を絞っていく中で、市が決定していくこととなります。</p>
事務局	<p>整理した意見を基に来年6月までに施設の位置や規模も決めていけないかと考えています。千種町の良いところや強みを活かし、弱みや課題をカバーしていきたいと考えています。どのような強みが活かせるのか取組を掘り下げていく必要があると思いますし、次の取組につながるアイデアがでてくるのではないかと思います。それらを踏まえた上で、どのような施設にするのか、場所のことやその施設でどのような活動をするのか。また、エーガイヤをどうするかなど、ワークショップ形式で取組を掘り下げていただき、計画書の作成に向けた工程表をつくっていくアイデアを出していただきたいと思います。</p> <p>(3)【勉強会】千種まちづくり推進委員会の取組</p>

<p>委員長</p>	<p>続いて、千種まちづくり推進委員会でどのようなまちづくりにするのか、議論してきたことを話していただくこととしています。委員会を進めていく上で参考にさせていただければと思います。</p>
<p>講師</p>	<p>講師：宍粟市地区コミュニティ支援員 田住 学 氏</p> <p>【千種まちづくり推進委員会の取組概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ まちづくりの概要 <ul style="list-style-type: none"> ・ 地方はそれぞれに特色があり、どこも少子高齢化に悩んでいる。そこには人が住んでおり、住んでいる以上は“くらしがい”や“生きがい”がなければ、そこは人が住むところではなくなる。 ・ 合併前の千種町は“たたら”の聖地。“たたら”を核とする「たたら」の里づくり構想を立て、地域の誇りを大事にし、郷土愛を育てることで、そこに住む人のくらしがいや生きがいに繋げていく。 ・ 千種に住んでくれる人を大事にするのが一番大事ではないか。それが、まちづくりの原動力にも繋がる。 ・ 構想に掲げる「たたらまつり」は、一過性のものではなく、教育や観光、文化に派生し、いろいろな意味で地域に関わりというものが生まれてくる。そうして自治会組織が根付く中で、生業である農林商工に繋げていく。 ・ 地域づくりを進めるには、人や財源のほか、観光・文化・交通・生活サービス拠点などいろいろな態勢が必要となる。千種まちづくり推進委員会の取組を進めていくにあたり、千種生活圏の拠点づくりはまちづくりの目標や拠り所となる。 ◆ 千種生活圏の拠点づくりについて <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域資源を再確認していくことが、地域づくりには大事。話し合いを進めていく上で、この地域にあったものに活かされていく。 ・ 千種生活圏の拠点づくり検討委員会で議論していること、それ自体がまちづくり。10年20年先に何が必要なのか、夢を語り、こんな町がいいなと考える場になればよい。 ・ 拠点にはどのような機能が必要か。集約した方がよい機能、地域内で連携させる方がよい機能、集約することによって周辺への影響はどうかを考えていく必要がある。 ・ いろいろと意見が出てくる中で、予算との折り合いをつけることも大事。 ◆ 拠点づくりの方向性 <ul style="list-style-type: none"> ・ 将来を見据えることは大事だが、中身が機能しないと拠点にはならない。住民が何をするか、何ができるか、何をしなければならぬかという意識まで醸成する必要がある。 ・ 千種まちづくり推進委員会はボランティアで活動されている。そのくらいのエネルギーがないと活動が進まない。行政でイニシアティブをとるべきこともあるが、いつまでも頼ってはいは拠り所にはならない。
<p>委員長</p>	<p>ありがとうございます。千種まちづくり推進委員会の取組やその他のことでも、意見や質問などがあればお願いします。</p>
<p>委員</p>	<p>市民局を建てる予算はどの程度あるのでしょうか。建物の規模が分からないので、必要な機能を考えることが難しい。方向性やタイミン</p>

	<p>グを間違えると将来に負担を残していくことになります。</p> <p>エーガイヤにスペースがあるのであれば、そこに市民局が入り、その他に市民がコミュニケーションする場所やセンターちくさ、防災・避難所になる建物がまとまれば、コストが小さくなるのではないのでしょうか。</p> <p>予算の使い方に関して、地域の人暮らしをよくしたいのか、それとも外から移住者や観光客を呼びたいのか、どの事業がどのペースで進んでいるのかわかりません。建物を建てても人口が減っていれば意味がないので、予算配分の仕方を明確にいただけると助かります。</p> <p>若い女性に移住してくれればという意見もありましたが、現状では結婚でしか移住はないと思います。少子化対策を進めておられますが、保育料を無償にしている自治体もあります。宍粟市でも幼児教育が無償になるという話がありますが、不妊治療などは大きな治療しか助成対象になっておらず、子どもが欲しいという方々に予算を使う方がよいのではないのでしょうか。</p> <p>先日、災害時に備えているかのチェックシートを記入することがあり、防災のことをあまり考えていない方が多いということが分かりました。千種町全体での防災訓練などされていないので、年数回でも全員で防災訓練を実施するために予算を使うなど考えてほしい。</p> <p>防災物資も、どういう物資が準備してあるか知らないので不安があります。子どもだとオムツやミルクも必要になります。いろんな不安要素がありますので、防災の施設を日頃から公開するなど、情報提供いただけるとありがたいです。</p>
委員長	<p>防災の件について事務局から説明をお願いします。</p>
副局長	<p>宍粟市の地域防災計画により、避難所の数や備蓄品は地域ごとに準備しておくことになっています。詳しい資料が手元にありませんが、物資には食料品と紙オムツもあったと思います。千種町では市民局と千種高校にある防災倉庫に物資が備蓄してあります。また、各種団体との協定により、災害時には必要な物資を届けていただけることになっています。</p>
委員長	<p>千種町では、各自治会で防災訓練を実施しており、隣保で避難する場所が決まっています。千種町全域でも防災訓練を実施しています。建物を建てるかどうかや、予算がどの程度になるかは委員会での意見をもって話していくことになると思います。また、庁舎をエーガイヤにするのもひとつの意見だと思います。</p>
委員	<p>財源があるから今建てるということでしょうか。</p>
企画総務部次長	<p>もし、今建てるのであれば、市の負担を少なくするため有利な財源を使いたいと考えています。建物が必要ないのであれば、市も建物を建てようとするものではありません。</p> <p>一宮では、すでに設計など進めておりますが、ホールや図書館などが古いままで、新たな施設の中にその機能を入れることを考えています。千種町ではエーガイヤが比較的新しく、波賀町は市民局が新しい建物です。それぞれ状況が違う中で、千種町ではこんなことをしてほしいという意見をいただいている段階です。</p>

委員長	<p>千種市民局が築 50 年経過し、老朽化が進んでいるため建物を建てるかどうかという議論になっています。どうしても建替えないといけ ないという話ではありません。合併特例債の期間は平成 32 年度までになっていますので、このタイミングを逃すと市は建てるのが難し くなります。建てるのであれば必要なものを建てようということで、市民の意見を聞くという委員会です。こんな機能があればという意見 をまとめてもらえればよいと思います。</p>
委員	<p>拠点というのは家と同じだと思います。身の丈にあったものをつくります。観光に必要ななら案内しやすい場所になりますし、“たたら” を推進するなら“たたら”を案内するようなものが必要です。すべての機能ということではありませんが、防災や医療に関しては 24 時間 対応するなど必要ではないかと思います。今日は、センターちくさで 4 つ行事が入っているようですが、毎日 4 つの行事があるなら 4 つの防音した部屋が必要になります。</p> <p>必要に応じて規模が決まってくるので、毎日使うことを想定して必要な規模を考えればよいと思います。規模はこれから考えていくこ とで、必要に応じて予算化して建てる必要があります。</p> <p>私の家は人がいなくなって使わなくなっている部屋があります。無駄な機能は必要ないですし、毎日使うことを前提にしていけば施設規 模はコンパクトになると思います。年 1 回しか使わないような機能は無駄になりますが、それを 365 日使うようにすれば無駄ではなくな ります。必要な行事とか無駄のないようにするのなら、いくら大きくなって構わないと思います。</p>
委員長	<p>身の丈にあったというのはそのとおりだと思います。市民局をどうしたらよいか。古くなった建物を建替えるならどのようなものにすれ ばよいかということです。</p>
委員	<p>必要な機能には商売も入るのでしょうか。</p>
委員長	<p>いろんなことを発想していただいて、それを設計に反映してもらおうのが我々の役割になります。</p>
企画総務部次長	<p>商売ということでいいますと、例えば拠点の中に塾のような機能を持たせることも考えられます。いろんなことを柔軟に考えていただい ればと思います。</p>
事務局	<p>(4)【ワークショップ】検討委員会の工程表・地図づくり</p> <p>この後、ワークショップを予定していましたが、時間の関係で考え方の説明のみさせていただきます。後日、意見を記入いただくワーク シートを郵送しますので、次回の委員会までに意見を記入いただき、提出いただくようお願いいたします。</p> <p>事務局よりワークショップの考え方を説明</p>

委員長	この件について何か意見がありますか。
委員	こういった場では緊張して意見が言いにくいこともありますので、一度持ち帰って考えたいと思います。
委員	<p>今回は持って帰り、次回の委員会で意見を読みながら出すということにしようでしょうか。先ほど商売の話がありましたが、商売にもいろいろとあります。例えば、これから高齢者が増えるので野菜の販売をして雇用を作っていこうとか、山崎高校で取り組んでいるレストラン「青い家」のコミュニティハウスでは、貸し館事業もされています。意見が横に広がるような、意見を出し合う機会を設けてはどうでしょうか。</p>
委員長	<p>近所の人や知り合いにも意見を聞いてワークシートを記入いただいていた方がいいと思います。</p> <p>5 その他</p> <p>6 閉会</p>
副委員長	<p>新しい委員が加わり、いろいろと意見をだしていただきました。次回の委員会に向けて意見を書いていただき、さらに委員会での議論が進むようにお願いします。本日はお疲れ様でした。</p>

(4) 第4回 検討委員会

1 開催日時	平成29年11月7日(火) 18時00分から20時00分	
2 開催場所	センターちくさ 3階 中ホール	
3 出席委員 (敬称略)	船曳順市、亀井欣也、藤原隆、鳥居薫、波多野好則、猶原一典、金本まみ、金本己世始、鳥羽敏美、清水一女、杉本千里、井岡陽子、磯崎伸彦、奥田慎一	(欠席委員) 森井俊二
4 事務局出席者	企画総務部：坂根部長、上長次長 千種市民局：幸福局長、清水副局長、村上副課長 地域創生課：山本課長、原係長、前田主査	
5 議題等	1 ワークシートの整理について 2 生涯活躍のまち(CCRC)に関する視察調査の報告について 3 【講話】地域福祉の現状について 4 ワークショップ 【テーマ】生活圏の拠点に必要なもの	
6 議事要旨		
千種市民局副局長	1 開 会	
委員長	2 あいさつ 10月22日に千種ふれあいフェスタを計画していましたが台風で中止になってしまいました。翌週28・29日には兵庫県の西播磨ふれあいフェスティバルがあり、こちらは台風の中でも開催され、鷹巣自治会から芸能祭の活動紹介があり、西播磨での活躍を嬉しく思いました。このところ、テレビでは悪いニュースが多く心苦しいですが、私たちの地域では、少しでもよい拠点づくりやまちづくりを進めていきたいと思っておりますのでよろしくお願いします。	
事務局	3 協議事項 (1) 前回協議の確認について 事務局より第3回会議録の説明	
委員長	会議録について意見がありましたらお願いします。 — 意見なし —	
事務局	(2) ワークシートの整理について 事務局より委員の意見を整理したワークシートについて説明	
事務局	(3) 【参考資料】生涯活躍のまち(CCRC)に関する視察調査の報告について 拠点づくりの参考として、社会福祉法人佛子園が取組む“ごちゃまぜのコミュニティ”「シェア金沢(金沢市)」、「輪島カブーレ(輪島市)」の取組動画を視聴	

(4)【講話】地域福祉の現状について

演題：だれもが安心して暮らせるふくしのまちづくり

講師：宍粟市社会福祉協議会 生活支援コーディネーター 森井裕矢 氏

◆ 福祉指標からみる千種町の現状

- 千種町では、高齢化率が毎年1%以上増加しており、高齢化率が40%に近づいている。また、男性は団塊世代の人口が最も多くなっているが、女性は80代が多く、子どもや20、30代が少ない状況にある。
- 千種町の人口はこの5年間で450人減少しているが、市全体では世帯数が増加している。千種町や波賀町から山崎町に移住する方も多く、単身世帯や夫婦のみの世帯が増えている。
- 団塊世代が75歳を迎える2025年には、宍粟市の人口は33,600人ほどになると見込まれており、市全体の高齢化率が37%、後期高齢者が20%を超える予想となっている。
- 空き家や介護保険の認定者も年々増加している状況にある。
- 認知症が要介護認定の大きな要因となっており、約1,000人が介護負担の大きな「動ける認知症」の方で、介護に関わる家族も高齢化する中、家族への支援は急務。

◆ 介護保険制度の改正

- 2000年に介護保険制度が始まり、介護保険の認定者を社会全体で支える仕組みが作られた。
- 2015年の介護保険制度の改正により、特別養護老人ホームへの入所要件が要介護3以上となり、要支援1・2の訪問介護・通所介護は、介護予防給付から地域支援事業に改正（国から地方自治体の裁量・責任に）。
- 介護事業者が提供していたサービスに互助という住民の助け合いの概念を取入れ、住民自身が要支援1・2の方にサービスを提供することになる。

そのため、地域住民の支えあいやつながりの再構築が必要とされている。

- 住民同士の声かけや、おすそ分け、買い物やゴミだしの手伝い、気軽に寄れる集いの場づくりなど、要支援1・2の方が介護サービスを利用されていたところを、地域の中でできる範囲で支えあう関係をつくることにつながりの再構築。
- 地域で住民同士のつながりの再構築を進めていく上でのサポートとして、市役所で1名、社会福祉協議会で2名の生活支援コーディネーターが配置されている。地域の中で話合う場をつくりながら、取組を進めている。
- 団塊世代が75歳を迎える2025年には、介護・医療の負担が大きくなり、認知症の方の増加や単身世帯の増加が予想される。介護保険制度がもたなくなる可能性があるため、介護保険制度が改正された。
- 2025年には3人に1人が65歳以上、5人に1人が75歳以上となり、その状態が50年続いていく。今から生まれてくる子どもが大人になるまで続いていく問題なので、子どもたちが地域の中でどう関わっていくかが重要となる。
- 公的機関の役割として、2025年までに高齢者が自立して自分らしく地域の中で可能な限り生活できる支援体制（地域包括ケアシステム）をつくっていく。

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療や介護、福祉と連携しながら、生活基盤である隣同士の支えあいで住みやすい地域づくりを進め、介護予防事業も生活支援コーディネーターが支援していく。支えあいや介護予防など順調にできるようになると、先ほどの動画で紹介されていたシェア金沢のような取組みが、千種町にあった形でできるようになってくると思う。 ◆ 社会福祉協議会の取組み <ul style="list-style-type: none"> ・ 社会福祉協議会では、地域づくりのために見守りや支えあい活動、災害に備えた取組み、いきいき 100 歳体操やサロン・喫茶など気軽に集える居場所づくり、学校や地域での福祉学習の実施、ボランティアセンター充実や NPO 活動との連携などを通じて新たな生活福祉の課題に取り組んでいる。 ・ 個別支援として、金銭管理の支援や専門機関と連携した相談事業の実施、新たな支えあいの仕組みづくりのために生活支援コーディネーターが地域とさまざまな福祉サービスを発見したり、今あるサービスの見える化を図っている。また、結婚相談、配食サービス、健康と仲間づくりのためのミニデイサービスの実施のほか、介護保険制度上の介護・福祉サービス事業を実施している。 ・ 社会福祉協議会では、福祉の側から地域づくりを進めており、人と人のつながりや居場所づくりなど様々な形で進めている。拠点の要素として入っていくことで、現在の千種町の状況にあった福祉が拠点づくりに入っていけるきっかけになると思う。
委員	<p>今回は介護保険制度の話でしたが、実際には、生活困窮者の自立支援法、障害者の差別解消法など様々なケースがあり、拠点の在り方に関係してくると思います。社会福祉協議会の取組みも拠点づくりの意見にいくつか入ってくるところもあるかと思います。地域づくりの中で福祉は大切な位置付けで、最終的にはそこに住まれている方をどう支えていくのかということになると思いますので、地域全体の課題として考えていただければと思います。</p>
全委員	<p>(5) ワークショップ 【テーマ】生活圏の拠点に必要なもの 3 班に分かれてワークショップを実施（次回に継続）</p> <p>6 その他 12 月に視察を予定。次回の委員会でお知らせする。</p>
副委員長	<p>7 閉会</p>

(5) 第5回 検討委員会

1 開催日時	平成29年12月5日(火) 18時00分から20時00分	
2 開催場所	センターちくさ 3階 中ホール	
3 出席委員 (敬称略)	船曳順市、亀井欣也、藤原隆、鳥居薫、波多野好則、猶原一典、金本己世始、鳥羽敏美、清水一女、杉本千里、井岡陽子、磯崎伸彦	(欠席委員) 森井俊二、金本まみ、奥田慎一
4 事務局出席者	企画総務部：坂根部長、上長次長 千種市民局：清水副局長、村上副課長 地域創生課：山本課長、原係長、前田主査	
5 議題等	1 ワークショップ①：生活圏の拠点に必要なもの 2 ワークショップ②：エリアで考えよう 3 先進地視察について 4 今後の検討スケジュール(案) ー千種生活圏の拠点エリアの姿ー	
6 議事要旨		
千種市民局副局長	1 開 会	
委員長	2 あいさつ 寒くなってきたので、もしかすると雪が降るかもしれないと思っていましたが、無事開催することができました。5回目の委員会ということで、計画の内容を詰めていこうというときかと思えます。計画の中身をどうしていくのか、何が必要なのか詰めていきたいと思っています。すべてが委員会の希望どおりにしていただければいいのですが、難しい面もあるかと思えますので、早めに骨子をまとめていき、計画に入れるべきところや足りないところを検討していく方が良いのではないかと思います。同じ議論を繰り返さず、具体的に進めていただければと思いますのでよろしくお願いします。	
事務局	3 協議事項 (1) 前回協議の確認について 事務局より第4回会議録の説明 (2) ワークショップ①：生活圏の拠点に必要なもの(前回のつづき) 前回に引き続き、これまでの意見を踏まえて拠点として必要な機能や役割などについて、3班に分かれてワークショップを実施	
委員	◆ 各班からの意見 (1班) <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の魅力が建物の運営や必要なものをフォローしていく材料になる。 ・ 現在も使われている自治会スペースが必要。会議室との併用を考えてはどうか。 ・ 建物の中に、いろいろな店舗が入ることやホールなどのスペースを貸し出すことにより、賃貸料収入で維持費を賄うことができる。 ・ 老若男女が集う場所として広いロビーが必要ではないか。また、集うためにどういったものがよいか、例えば、若い人向けには Wi- 	

委員	<p>Fi スポットやカフェ、飲食できるところが併設されていけばうまくいくのでは。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 高校生向けの下宿が必要ではないか。家賃収入も考えられる。 • 高齢化が進んでおり建物にはエレベーターが必要。 • 拠点の中心には行政施設があり、千種町の行政を支えてもらう。また、住民サービスを提供してもらう。 • 現在も使われている消防車を止めるスペースが2~3台分は必要になる。 • 交通面でバスターミナルを併設することや、観光面で商工会窓口、観光の案内所を置いてはどうか。 • いろんな施設を集約するというので、駐在所に入ってもらふことや、その駐在員に住んでもらう住宅を考えてはどうか。 • ホールは300人規模と大きくすることで、間仕切りすれば防災面で緊急事態にも対応できる。 • 太陽光発電設備の設置。 • 地元の特産品を活かすような機能があれば観光振興に繋がる。 <p>(2班)</p> <ul style="list-style-type: none"> • 機能重視の建物とし、見栄えよりも中身をしっかり入れていこうということが大前提になる。 • ホールを充実させたい。段になった収納できる座席を考えてはどうか。 • 高校生の下宿を考えてはどうか。 • 日常生活のワンストップサービスということで、生活用品が買えるお店など、そこに行けば必要な物を揃えることができるような場所にする。また、カフェスペースなどで寄りやすくする。 • 送り迎えや他の場所にも行きやすいよう案内窓口がほしい。 • バスターミナルとしてバスの出発や終点になる。また、貸し出すような車ではなく、無料で誰でも利用できる電動式の乗り物を並べておき、そこから商店街への買い物やエーガイヤの診療所など、拠点までくれば、自分で行きたいところに行けるようにしておけば面白いのではないか。 • いろいろな相談事が解決したり、必要な物が買えたり、拠点までくれば移動手段が確保できるなど、情報も含めた拠点になればいい。
委員	<p>(3班)</p> <ul style="list-style-type: none"> • 家族ごと千種町に来ていただける拠点づくりができないか。家族ごと移住してもらえれば人口が増え、子どもも増える。 • オシャレな場所でなければ若者が集まらない。 • 観光客や地域外の方を引っ張り込む方がいいのではという意見が多い。例えば、スキー客の泊まる場所やゴルフ客が町に立ち寄る工夫をして、そこに千種町を紹介するコーナーがあり、お土産が買えるようにする。また来たいというリピーターを増やすことで、いずれは千種町に住んでみようということに繋がる。それを可能にするカフェや音楽ができるようなホールも必要になる。 • 防災拠点として頑丈な造りも大事になる。 • インスタ映えするようなことを考えてはどうか。 • 拠点での下宿を考えてはどうか。高校の存続が厳しい状態で、少しでも高校生に千種に住んでもらい、その延長線上で家族一緒に移

	<p>り住んでもらえればもっといいのではないか。そのために、千種町にすれば学費がかからない、下宿費用がかからないということがあれば、かなりインパクトがあるのではないか。</p> <p>(3) ワークショップ②：エリアで考えようー千種生活圏の拠点エリアの姿ー 拠点となるエリアの中でどういう機能があるのか、これからこういった機能が必要となるのかについて、先ほどのワークショップとは班構成を変えて3班で意見交換を実施。</p> <p>◆ 各班からの意見</p> <p>(1班)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 拠点エリアの機能として、若者が集まる場所や医療関係がないことに気付いた。 ・ 飲食店や商店、買い物するところが多くあるが、地域外から来た住民は知らないところが沢山ある。カラオケ喫茶があることも知らなかった。 ・ 大人は遊んだり過ごせる町だが、若者や子育て世代が集まったり、遊んだりする場所があまりない。 ・ 今後改善していくにあたり、若者が行きやすく、また行こうと思える場所や施設、お店が必要だと感じた。
委員	<p>(2班)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ エーガイヤと市民局周辺に機能が二極化する。エーガイヤ周辺は地域外向けに観光分野を重点的にし、市民局周辺は行政や地域コミュニティの関係がまとまったらいいのではないか。 ・ 国道429号から市民局への進入路に段差があるが、利用しやすいように改善が必要。
委員	<p>(3班)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 商店街が充実して残っているので商業施設が多くある。 ・ エーガイヤと市民局周辺に多くの機能があり、ここが拠点施設となる。 ・ 若者が集まる場所がないということだが、ええとこセンターは千種高校の町の駅になっており、高校生が月1回利用されている。また、ええとこ広場では、放課後に高校生が椅子に座って話していたり、帰るまでの時間を過ごしているのをよく見かける。市民局やセンターちくさも若者が集まる場所になると思う。 ・ カラオケ店が2ヶ所あり、交流スペースが千種町にはある。 ・ 健康づくりや仲間づくり、生きがいづくりなど高齢者などが集まる場所が少なくとも一ヶ所はある。
事務局	<p>(4) 先進地視察について 次の2ヶ所を候補として、次回1月の委員会を先進地視察とさせていただきたいと考えています。</p> <p>① 鳥取県南部町 「生涯活躍のまち」事業に取組み、東京など都市部から移住者を呼び込むための条件整備を進めている。これから計画を作っていく上での参考とする。</p>

委員長	<p>② 島根県松江市八雲社会福祉センター 複合施設として整備・運用されている拠点施設。実際に使用されている施設を視察し、使い方などの参考とする。</p> <p>事務局からの提案について、この検討委員会と似たような取組みを進めているところということで、視察してはどうかと思います。意見はありませんか。</p>
委員	<p>— 一同了承 —</p>
事務局	<p>(5) 今後の検討スケジュール(案) 高校の話や若者や子育て関係の機能が少ないということで、これらの機能を検討していくには若者の意見を聞くことが必要ではないかと考えています。1月の委員会は視察とさせていただき、2月に千種高校の生徒と検討委員会との懇談会ができればと考えています。その間、具体の計画素案の準備を進めていき、3月の委員会でお示しします。その素案を基に6月まで議論を重ね、方針を固めていってはどうかと考えています。</p>
副委員長	<p>4 その他</p> <p>5 閉会 これまで委員の皆様から意見を出していただいておりますが、行政職員の方も意見を出していただき、ともに考え行動するようにしていきたいと思います。次回は視察ということですのでよろしく申し上げます。お疲れ様でした。</p>

(6) 第7回 検討委員会

1 開催日時	平成 30 年 2 月 15 日 (木) 18 時 00 分から 20 時 00 分	
2 開催場所	センターちくさ 3階 中ホール	
3 出席委員 (敬称略)	船曳順市、亀井欣也、藤原 隆、森井俊二、鳥居 薫、波多野好則、猶原一典、金本まみ、金本 己世始、鳥羽敏美、清水一女、杉本千里、井岡陽子、奥田慎一、磯崎伸彦	(欠席委員)
4 事務局出席者	企画総務部：坂根部長、上長次長 千種市民局：幸福局長、清水副局長、村上副課長 地域創生課：山本課長、原係長、前田主査	
5 議題等	1 兵庫県立 千種高校生徒との意見交換について 2 先進地視察の実施について 3 千種生活圏の拠点づくりの考え方(中間とりまとめ案)について	
6 議事要旨		
千種市民局副局長	1 開 会	
委員長	2 あいさつ 前は先進地視察に行ってくださいました。拠点づくりの参考になったのではないかと思います。本日は、千種高校生徒との懇談会と先進地視察の報告、またこれまでの中間的なとりまとめということで事務局がまとめてきてくれています。これらの内容を聞きながら意見をいただきたいと思いますので、よろしくお願いします。	
事務局	3 報告・協議事項 (1) 前回協議の確認について 事務局より第 5 回会議録の説明	
事務局	(2) 【報告 1】兵庫県立 千種高校生徒との意見交換について 平成 29 年 12 月 20 日に行った千種高校生徒との懇談会での意見交換の内容について報告	
委員長	高校生らしい純真な意見を聞かせていただいた。これを参考にしながら拠点づくりを進めていければ良いのではないかと思います。	
事務局	(2) 【報告 2】先進地視察の実施について 平成 30 年 1 月 15 日に実施した先進地視察について報告 (視察先・内容) ① 鳥取県西伯郡南部町・生涯活躍のまちの実現に向けた取組 ② 島根県松江市八雲地域・福祉文化の複合拠点施設	

委員	<p>南部町では、平成 28 年度は 36 人の転入超過、平成 29 年度はこれまでに 14 人の転入超過と聞きました。転入が多い理由に、移住者の支援として起業家支援をしていることや子育て支援を充実していることで近隣から移住してこられると言われていました。具体的に子育て支援はどのようなことをされているのかと報告を聞いて疑問に思いました。</p>
事務局	<p>地域おこし協力隊として入って来られている方が起業家支援の枠組みを使って地域で塾を開かれたということでした。また、子育て支援については、人口の多い米子市に近いということもあり、子育て環境が良いという情報が伝わったのではないかとのことでした。南部町では、地域振興協議会という地域コミュニティの核になる組織がいろいろな役割を担われているのですが、子育て支援についても取組んでおられ、コミュニティの結びつきが非常に強いということが、子育て支援が充実していることに繋がっているのではないかと思います。</p>
事務局	<p>(4) 千種生活圏の拠点づくりの考え方（中間とりまとめ案）について これまでの委員会での意見を踏まえた中間とりまとめ案の内容を説明 拠点エリアの機能を分類したうえで、千種市民局周辺とエーガイヤちくさの役割分担について 3 パターン想定し、それぞれのメリット／デメリットを分析</p>
委員長	<p>これまでの意見を踏まえて、案を提示いただきました。中間的な案になりますので、案として 3 パターン提示されていますが、これをもっと充実していくにはどうすればよいか、視察した松江市八雲地域の拠点施設も参考にしながら考えていただければと思います。 先ほどの説明に関して、これをどう充実すればよいかなど意見いただければと思います。</p>
委員	<p>エーガイヤは主要道から分かりやすく、温泉もありますので、観光など外向きの機能をもった方がいいと思います。また、今の市民局周辺については地元で暮らす人たちのための機能を充実させた方がいいのではないかと思います。ワンストップは望ましいですが、建物や予算のことを考えると難しいと思います。できるだけワンストップに近い形になるように、市民局周辺は千種町で暮らす人たちのためのスペース、エーガイヤは町外からの人たちを迎え入れ、来られた人に千種の魅力を発信できるようなことに重点を置いて考えるのがいいのではないかと思います。</p> <p>中間とりまとめ案で、良好な子育て環境として中高連携事業もありますが、千種町ではすでに園小中高連携事業が進んでいます。そのことを全国的に発信し、千種町では幼稚園から高校までが連携して取組んでいることが伝われば、家族単位での移住ということもあるかもしれません。教育環境で生活の場所を選ぶということがあると聞きますので、年々濃くなっている連携を魅力の一つとして、園小中高連携事業を付け加えていただきたいです。</p>
委員	<p>視察した南部町の移住の仕組みでも、雇用の受皿がなければ移住者を増やすことは難しいと感じました。すでにエーガイヤは観光機能が若干あります。登山の方やレストランに来られる方、観光情報の問合せなど、エーガイヤは外の方にとってわかりやすい拠点になっており、いろんな方が来られるというのが良さかなと思います。</p>

委員	<p>中間とりまとめ案には「保健」というキーワードが入っていません。保健も大事な機能だと思いますので、抜けているのではないのでしょうか。</p>
事務局	<p>保健福祉の機能を追記します。</p>
委員	<p>外から千種町に来た人にとってエーガイヤの存在はとて大きく感じます。目につきやすく皆さんが通るところなので、他の委員が言われているように、観光機能をもっていくべきだと思います。せっかくの収益施設でもありますので、改装するなどして使っていくべきだと思います。</p>
委員	<p>昨年4月から千種高校生のための下宿検討委員会が立上がり、市民局が窓口となって、下宿に関する聞き取りやアンケート調査をしていただきましたが、残念ながらあまり芳しい結果ではありませんでした。他の地域では、空き家を民間が改修し、下宿として開放されていますが、千種町では難しいと思います。</p> <p>そこで、エーガイヤで使用されていないショートステイ施設を改良して下宿として使用できないかと思います。居住できる人数はそれほど必要ありませんが、未成年ですので管理人が常駐する形になるかと思います。千種高校の存続は、千種町の存続に関わることで、行政財産の目的外使用など法的な課題はあるかと思いますが、全国区で生徒を募集する高校ですので、そこで受入できれば千種町の宣伝にも繋がり、先ほどの園小中高連携事業を絡ませることで、子育て環境のいい千種町で、幼稚園から住んで子どもを大きくしようと思っていたくのも可能ではないかと思います。千種高校の存続については早い段階で動かないと、将来が不安な状況です。生活圏の拠点づくりと絡めて、千種高校の生徒を全国から呼び寄せるための機能も考えていただきたいと思います。</p>
委員長	<p>全国的に見ると町立の高校もあります。特色として観光施設の中に宿泊所があるというのもよいと思います。松江市八雲地域の拠点施設も綺麗に見えますが、元々あった施設を増改築している施設です。エーガイヤも改修すれば、もっと多機能的に使えるのではないかと思いますので、一度、エーガイヤを委員会で見学し、現状で施設がどこまで使われているか確認いただければと思います。エーガイヤを改修することで、今の市民局に大きく手を加えずに、できるだけ集約していくこともいいのではないかと思います。</p> <p>また、道の駅をエーガイヤにもっていったらどうかという意見もあります。観光地として魅力になりますし、地域で野菜を栽培している方もエーガイヤまでなら、売り出しに行ってみようとなるのではないかと思います。エーガイヤは、スキー客かと思いますが、温泉利用も多く、観光面をもっと売り出していけば魅力ある町になるのではないかと思います。</p>
千種市民局長	<p>高校生を町の外から呼んでくる仕掛けをしていけば、千種町の良さが伝わり、大学卒業後も千種町に戻ってきてくれるようになると思います。千種高校に通える環境づくりのため下宿を検討しましたが、食事の提供が難しいということではなかなか進んでいません。行政の人間としてはできない理由付けはしやすいですが、どうすればできるのかに考え方を転じていくことが大事です。無理なことを無理ではない方</p>

	<p>法に変えていくには、多くの人の意見を聞き、現場も見ながらいろんな案を出し合って、できないではなくやろうという意識にならないといけないと思います。人口減少をどうにかしようとしても一人、二人の意見ではできません。皆が思いを馳せなければ何もできません。千種町に移住してよかったと思ってもらえる状況をつくるには環境づくりからになります。提案はあくまでも提案ですので、下宿もそうですが、エーガイヤも実際に見ていただき、中間とりまとめ案について考えていただければよいかと思います。</p>
委員	<p>検討委員会が始まったときは、立派な建物が整備されると思っていましたが、市も多くの借金を抱える中、エーガイヤを改修し、市民局跡地には小規模の建物を建てることで予算を低く抑えようとする考えになっているのではないかと思います。</p> <p>姫路市役所も昔は駅から北にあってお城の周辺が賑わっていましたが、南側に移ったことで賑わいが変わりました。千種町も市民局機能がエーガイヤに移っていくと、市民局周辺はおそらく寂れると思います。</p> <p>コストを下げることはいいことだと思いますが、寂れる要因になりますので、中間とりまとめ案の提案には反対したい。機能集約ということですが、エーガイヤにはそれほどのスペースがなく、施設の天井も高く改修しにくいので、もう少し機能を分散させた方がいいと思います。</p>
委員長	<p>予算の話はまだでていませんので、こだわらなくていいと思います。中間とりまとめ案では3つ目の案が適切かと思いますが、この案を足したり引いたりしながら進めていけばいいのではないかと思います。</p> <p>エーガイヤは外から見ると低いですが、確かに中に入ると天井が高い。ただ、それも造作で何とかできるのではないかと思います。皆さんに一度見学していただき、天井を低くして部屋を増やしていけるかなど検討していただければと思います。また、鷹巣小学校を改修したときは6,400万円ほどかかりましたが、その施設が2つ分あれば市民局機能としては十分使えると思いますので、予算のことは現段階で気にしていただくなくてもいいと思います。</p>
委員	<p>老朽化している市民局とセンターちくさを解体して集約できる建物が必要になりますが、市の予算が厳しい中、現にあるエーガイヤを使うことで、その規模を小さくしようとする考え方になっているのではないかと思います。また、地元商店街も人が少なくなっていますが、さらに減ってしまいますので、やはり反対です。今ある施設を活かす方法を考えるのもいいですが、市民局機能を移せばいいという話ではないと思います。</p>
事務局	<p>予算を圧縮しようというわけではなく、今の施設も活用しながら今まで議論していただいたことをやっていくためにどういう整備をしないといけないかということに重点を置いて中間とりまとめ案を考えさせていただきました。</p>
企画総務部長	<p>委員の皆様の見意見をまとめる段階では、我慢していただくところも出てくるかもしれませんが、現段階で予算を抑えようということは考えておりません。</p> <p>将来にわたって使いやすく、集まりやすいということを何年か経った後に、思ってもらえるような施設にするためには、皆さんの意見が</p>

	<p>必要ということでこの委員会を始めています。整備に 20 億かけても構わないとわけではありませんが、現段階では皆さんから意見をいただいているエーガイヤは観光の玄関口にしたいなというような思いをまとめていただければ、次に行政からこんな形はどうかとお示しすることができることもあるかと考えていますので、今は予算の関係でこういった案がでていう風には考えていただかなくていいかと思えます。</p>
委員	<p>エーガイヤにはスペースがなく、改装できる建物でもありません。新たに整備する方がコストも低くなるのではないのでしょうか。また、駐車場がないと思えます。</p>
企画総務部長	<p>現在の施設を市民局に集約すると駐車場がないという課題があります。エーガイヤという拠点がありますので、集約することも大切ですが機能を分散して、市民局との間をうまく結ぶことで、商店街が有効に機能できる方法を考えるのもひとつの手法かと思えます。</p>
委員	<p>機能の分散することについては賛成ですが、千種町の本丸と二の丸をどこに作るかということで、やはり現市民局が本丸になります。交通については、自動車運や人工知能の活用で課題解決することもあると思えます。千種商店街の良さが今もなくなってきていますが、さらになくなります。民間で店を開くなど努力すべきことであると思えますが、守るべき商店街でもあると思えます。その一角の担う市民局機能が動いてしまうと、千種町に本丸がなくなるということに繋がると思えます。</p>
委員長	<p>今はどこを拠点の中心にするかという話ではなく、5～10 年先にどういう形にすると利便性が良いか、住む人に安心してもらえるかを考えていく必要があります。千種町を売り出すには、エーガイヤを観光拠点にしながら、その他の機能を考えた方が将来的にはよくなるのではないかという考えです。いろいろな人の意見を聞きながらまとめていく必要があります。</p>
委員	<p>機能的に考えると防災面ではある程度大きな建物が必要になります。どこにあるかは市民局機能と同じように考えていく必要があると思えます。先ほど言われたように、人が集まるような仕組みは必要になると思えます。観光というのもひとつの観点であると思えますが、住民の利便性も一緒に考えていく必要があります。</p> <p>話が変わりますが、高校生の意見に小学生が高校生を怖がるという意見がありました。拠点づくりも大人が子どものためにと考えたても、結果、大人がいるから入りにくいということもあると気になる意見でした。千種町では子ども園から一貫教育ということで、小さい子ども今から高校生ともなじみながら成長されると思えますが、今の段階ではないと思っていましたが、子どもと大人の壁があります。</p>
委員長	<p>郵便局は昔と違って入りやすくなっていますが、子どもころ農協や役場に入ると注目されたものでした。年を重ねると気にならなくなりますが、子ども目線で見ると気にするところがあります。子どもには子どもの気持ちがあるので、素直な意見を聞かせていただいたと思えます。意見にあるとおりにはできるかというところも難しいところもありますが、純真な気持ちでまちづくりやこの検討委員会も進めていかないといけないと思えました。</p>

委員	<p>検討委員会では意見を聞きたいということで、それが毎回続いていたので、今回は中間とりまとめ案を聞かせていただき、少し形になってきたと思います。形にしていかなければ同じ議論の繰り返しになりますので、それは良かったと思います。毎回形にして議論を進めていければいいと思います。</p>
委員	<p>高校生の意見でもありましたが、千種町にはスキーやゴルフ場などの施設があり強みだと思います。千種高校のためにも、授業にスキーやゴルフを取入れることを進めてほしいと思います。</p>
委員	<p>高校も魅力あるカリキュラムや体制づくりを進めないといけないということで、千種高校の校長先生とも何度か話をしたことがあります。スキーのアスリート教育をするといっても全国的にはすでに取り組んでいるところがあり、インパクトに欠けるということでした。欠けるからとやめてしまっていいわけではありませんので、高校に魅力がなければ、来たいと思わせなければいけないという話をしました。</p>
委員	<p>全国的には目立たなくても山崎町から来る生徒が増えるのでは。子ども園や学校での授業でもっと強化してほしいなと思います。</p>
委員	<p>千種高校にゴルフ部を作るために道具を寄付するなどしたことがありますが、そのときは何人かゴルフをしに来て、その後、お客として来られたことはなかったように思います。</p> <p>オリンピック選手を育成するには、1年中ゴルフやスキーができる環境が必要になりますが、千種町では厳しいと思います。学校の勉強をしながら趣味の範囲でゴルフやスキーをするのでは続かないと思います。</p>
委員	<p>無理といってしまうず、何か改善策があるのではないのでしょうか。</p>
委員長	<p>ひとつの事業として進めるのはよいと思います。千種高校の生徒を集める方法として進めていってほしいと思います。</p>
委員	<p>千草カントリーの宿泊所を下宿として活用し、高校まで送迎して通うなど、普段からゴルフができる環境にすることが考えられるのではないのでしょうか。また、エーガイヤでの高校生の下宿も、ふれあいサロンに協力していただき、お風呂と食事をつけて貸出するなどいろいろな方法があります。世帯での移住は難しくても高校3年間は安心して預けられる環境をつくるのも面白いかなと思います。</p> <p>4 その他</p> <p>5 閉会</p>
副委員長	<p>視察に行かせていただいた南部町は情報発信していく体制がしっかりしており、参考にしたいと思いました。今日の意見にでていた千種</p>

	<p>高校に関しても思い思いに発信するのではなく、皆が集まって総意をもって一括してPRしていければいいと思います。 今日、事務局から中間とりまとめ案の提示がありましたが、まだ案をだしていただいたところです。次回は多くの委員の皆さんからいろいろと提案に関して意見を言っていただければと思います。ありがとうございました。</p>
--	--

(7) 第8回 検討委員会

1 開催日時	平成 30 年 3 月 14 日 (水) 18 時 00 分から 20 時 00 分	
2 開催場所	エーガイヤちくさ 千種保健福祉センター 会議室	
3 出席委員 (敬称略)	船曳順市、亀井欣也、藤原 隆、森井俊二、鳥居 薫、波多野好則、猶原一典、金本まみ、金本 己世始、鳥羽敏美、清水一女、奥田慎一、磯崎伸彦	(欠席委員) 杉本千里、井岡陽子
4 事務局出席者	千種市民局：幸福局長、清水副局長、村上副課長 千種保健福祉課：田村課長 企画総務部：坂根部長、上長次長 地域創生課：山本課長、原係長、前田主査	
5 議題等	1 「エーガイヤちくさ」の施設現地見学 2 論点整理と検討方針 (案) 3 「千種生活圏の拠点づくりの考え方」策定スケジュールについて	
6 議事要旨		
千種市民局副局長	1 開 会	
委員長	2 あいさつ 本日は「エーガイヤちくさ」を見ていただきながらということで、会場を移して開催しております。凶面を見ながら宍粟市千種保健福祉課長に案内していただき、施設を見学後、意見交換をさせていただきたいと考えております。早速ですが施設見学をお願いしたいと思います。	
委員	3 「エーガイヤちくさ」の施設現地確認 千種保健福祉課長の案内でエーガイヤちくさを見学	
千種市民局長	「どがいじゃろえ」地域プランの説明 将来の千種町の地域づくりを短期・中期・長期の 3 つの視点から検討した資料です。生活圏の拠点づくりとして検討を始める前に作成しましたので、現在と状況が変わっているところもありますが、参考としていただければと思います。	
事務局	4 報告・協議事項 (1) 前回協議の確認について 事務局より第 7 回議事録の説明	
委員長	前回の議事録について何か意見があればお願いします。 ー意見なしー	

事務局	(2) 論点整理と検討方針（案）について 千種生活圏の拠点づくりの考え方（中間とりまとめ案）について、前回の委員会での意見を整理し、その検討方針について説明
事務局	(3) 「千種生活圏の拠点づくりの考え方」策定スケジュールについて 拠点エリアの機能や役割、商店街やいろいろな施設の活用など具体的な計画の議論を行い、6月中に計画をまとめ政策決定を行うことを説明
委員	計画が固まりつつありますが、委員会の中だけの意見になっていますので、今後、市民全体にどのように周知されていくのでしょうか。市の広報も見ているつもりですが、一宮町の拠点づくりは情報がなかったように思います。千種町の拠点づくりも千種町だけの問題ではなく、市全体に周知していく必要があるのではないかと思います。
企画総務部次長	先日、一宮市民局が所在する一宮町曲里自治会へ、生活圏の拠点づくりについて説明にいきましたが、地元自治会の中にも計画を知っておられない方がおられ、広報の必要性を感じました。ただ、千種町には千種町地域の特色がありますので、計画の内容は委員の皆様で考えていただき、千種町の取組を市全体に知っていただくような形で情報を発信するのが大事かと思います。
委員	この委員会の活動を市全体に周知はされないということでしょうか。
事務局	ある程度とりまとめた段階で広報やホームページ等を通じて情報発信をさせていただきますが、周知がどこまで行き届くかについては課題もありますので、一緒に考えていただければと思います。
委員長	千種町のことは千種町に住む人がどうするのかを考えていく必要があります。 本委員会については、議員からも一般質問がでておりますが、関心のある人は知っていますが、全体にはあまり知られていません。委員は責任のある検討をしています。委員会では中間とりまとめ案の内容を議論していくことしかできないのではないかと思います。
事務局	教育の強みを市内外に発信することも大事だと思いますので、地道に進めていきたいと考えています。
委員長	園小中高連携は千種にしかない取組ですが、教育や子育ての環境をよくするには費用も必要になります。親の負担を減らす取組は相生市がいい例ですが、宍粟市で同様の費用を負担できるかという点難しいと思います。
委員	千種町全体の問題として町内での周知がまだ行き届いていないと思います。本委員会の取組を市広報とあわせて便りを出されています

	<p>が、反応までは確認されていないと思いますので。</p>
事務局	<p>関心を持っていただかなければ情報が伝わりませんので、皆で関わりをもてる仕組みはまだ手探りです。</p>
事務局	<p>文字だけでは伝わりにくいところもありますので、しそチャンネルの活用なども検討していきます。</p>
委員	<p>市の広報は、一緒に入っている書類の量が多いので、委員会便りが気付かない場合もあります。</p>
委員長	<p>新聞折込したとしても同様に見ていただけないことが多いと思います。</p>
事務局	<p>地域の方に興味をもっていただける方法などご提案ありますでしょうか。</p>
委員	<p>先日の神戸新聞に一宮町の拠点づくりについて記事が掲載されていましたが、ある程度、形になっているものがないとマスコミ取材もないかと思えますし、市民の方もよくわからないと思います。ある程度方向性や形ができて見せられるようにしないと反応がありませんので、具体的なものができてくれば、新聞記者に委員会に来てもらって記事にさせていただくなど、マスコミなどにも取り上げてもらえるように考えてはどうでしょうか。</p>
委員	<p>施設が整備されてから使用方法を考えるのではなく、市民局を新たに整備するにしても、地域を寂れさせない方法などあらかじめ考えて進めていく必要があります。前回の委員会では、エーガイヤちくさには拠点になるほどのスペースがないと意見しましたが、実際に現地を見てみると、もったいない使い方をしている部分もあり、拠点として活用してもいいのではないかと感じました。拠点が複数になっても、自動車の自動運転が発達し、交通や移動については技術で解決することができると思います。</p> <p>また、周知については、施設が整備されなければ興味が沸かないので仕方ないのではないのでしょうか。この委員会でリードしていく必要があると思います。</p>
副委員長	<p>中間とりまとめ案のままでいいとは思いますが、複数の案を委員会で議論して、町民に問いかけてはどうでしょうか。自治会で各戸に聞いてもらうなどすれば意見を汲み取れると思えますし、委員会の中だけで勝手に決めてしまうということにならないためにもアンケートをとってはどうか。</p>
委員長	<p>アンケートをとれば、良いか悪いか、どちらつかずの意見に分かれて、千種町にとって何がいいのか曖昧になると思います。この委員会での最終的な判断は市長がその責任で判断されますが、千種町の地域にあう計画を検討していくのがこの委員会です。本日、エーガイヤちくさを見ていただいて、拠点施設として活かせる部分を感じていただいたと思います。このように中間とりまとめ案で提示されている案に</p>

	<p>ついて議論を深めながら、皆さんで知恵をだしていくことになります。</p>
委員	<p>ローソンには若い人がよく集まっており、24 時間営業の機能が市民局にあればいいなと思います。安心するから集まるのではないかと 思いますので、市民局は安心・安全の機能をもつ必要があると思います。消防や警察は交代制で 24 時間仕事をされていますし、千種診療 所も医師 2 人体制を想定した施設と聞いていますが、宍粟市に医者が増えれば市外からも人が来るようになります。複数の医師で千種診 療所が 24 時間対応できるようになれば、拠点としての機能も高まると思います。また、どのような機能を求めるかによって、拠点となる 施設も変わってくると思います。</p>
委員	<p>もっと多くの方に拠点づくりの計画を知っていただき、幅広く意見を聞いていくことが大事だと思います。</p>
企画総務部次長	<p>計画をもとに拠点のイメージを作り上げて、あらためて地域の方にも意見を聞いていくということを考えています。</p>
事務局	<p>整備した施設をどう使っていくのかは大事なことだと思います。この生活圏の拠点づくりは新しい地域づくりの出発点だと考えていま す。施設を整備した後も地域づくりの取組みは続きますので、地域の方に関心をもっていただくことや、情報を伝えていくことは大事なこ とだと思います。情報発信や関心をもっていただける仕組みづくりも進めていかなければいけないと考えています。</p>
委員	<p>千種小学校 5・6 年生が先日開催された「しそうの森合唱祭」に出場しましたが、千種小学校の合唱がとても素晴らしいと好評でした。 千種町では、音楽にも力を入れておられ、子どもたちは楽しそうに歌っていて、遠方から聞きにこられた方も素晴らしかったと、また、千 種町は自然が綺麗だから声も心も綺麗になるのだろうかと言われていました。そんな小学校に通わせたいと親も考えないかなと思います。 幼少中高連携や合同で文化祭をしているのは千種町だけです。しそうの森合唱祭に出場するには学校をあげての練習が必要になりますの で、他の小学校はなかなか出場できません。千種小学校は下の学年の子も来年出場したいと言っています。来年も出場すると思いま すので、千種町の魅力としてアピールできる要素ではないかと思っています。</p>
委員長	<p>千種町には優れたところがあります。千種高校にも良いところがありますが、知られていない部分もあります。</p>
委員	<p>千種高校では 2 年前から取り組んでいる情報モラルの活動で、今回、文部科学大臣賞を受賞し、昨年は総務省からも表彰されました。そ の活動から発展し、ネットでのいじめやネットの危険性について高校生が分かりやすく情報発信していく中で、アメリカの高校生とネット に関する意見交換が始まり、このたび、アメリカから 5 名の学生が鷹巣を訪れることになっています。このような外国からも人を呼べる ような取組をまだ知られていません。</p> <p>また、給食も食育として実施されるようになり、給食メニューが苦手な子もいますが、8 割の生徒が給食をいい取組だと言っています。 地元食材を使えば、作っている方のこともわかるようになります。給食が始まる前は、コンビニでお菓子を買って昼食をすませている学生</p>

	<p>もいたので、心の発育にもいい。栄養面に関しても保護者も喜んで預けていただいていると感じています。</p> <p>もうひとつ特徴的な取組として、小規模高校として県下で 2 校、文部科学省の主導で遠隔授業を始めることになりました。生徒の減少で配置される先生の数が減り、カリキュラムにも影響がでるということで、モニター越しに双方向で授業を受けられるようになります。学力の低下なども心配される中、最先端の授業を平成 30 年度から受けられるようになります。</p>
千種市民局長	<p>波賀中学校の子どもも、以前は伊和高校に行くのが当たり前になっていましたが、最近では千種高校に進学する子どもが増えています。</p>
委員長	<p>教育環境も変わってきたと思います。アメリカから 5 人来ていただけということでしたが、千種高校からも 5 人の生徒がアメリカへ行くことになっています。小さなことですが、千種町には良いところもありますので、計画にも反映していければと思います。</p>
委員	<p>アメリカへの旅費も大使館が負担してくれることになっています。</p>
委員	<p>中間とりまとめ案の 5 ページにある「現市民局とエーガイアの役割分担」について、3 つのパターンがあり、3 つ目のパターンが議論しやすいと思いますが、行政窓口をどこにするかはかなりの議論が必要になると思います。これまでは市民局の中に行政窓口がありましたが、どの拠点に行政窓口を設置するのかは最初に判断が必要なのではないかと思います。</p> <p>また、診療所は現在医師 1 人ですが、毎週火曜日にツカザキ病院から眼科の医師が来るときは利用者が多くなります。専門医が来ることを市民の方もよく知っておられ、初診はツカザキ病院で、2 回目以降の診察は診療所という方も多いので、常時ではなくても必要なことを整えていくことが大事だと思います。先ほどうそこの森合唱祭の話がありましたが、鳥取県日野町というところでは立派な文化ホールがあり、毎年、高齢者から子どもまで全員が集まって町民ミュージカルが催されています。外部からも音楽家を招くなど上手に活用されており、千種町の拠点施設でも、観光機能をエーガイアちくさに追加することや、拠点施設に若者が集まる場がなぜ必要なのかなど、具体的な根拠を考えていく必要があります。また、目玉を何にするのか、見せ方も大事になります。</p> <p>まずは、行政窓口をこれからどう考えていくのか市民にとって一番大事な議論になりますので、委員会でもしっかりとした議論が必要だと思います。</p>
委員長	<p>県の事業を活用して千種まちづくり推進委員会を設立し、空き家などを活用した拠点を作ることが補助要件ということで、自治会長全員の承諾を得て今の位置に拠点を整備してこれまで事業を行ってきました。実際に拠点を整備した後、できることからやろうということで進めてきましたが、町を何とかしようという思いがあっても、お互いの活動には無関心なところがあり、実施した事業には意見がでますが、こんな事業をしようという意見は中々でてきません。</p> <p>エーガイアちくさも何のために整備するのかを議論するため、整備を 1 年延ばしましたが、見ていただいたとおり使えていないスペースもあります。拠点施設の整備は、どんなことに使っていくのかをよく考え、費用を少なくスペースを有効活用し、市民局とエーガイアのバランスをとりながら、皆が喜ぶことを考えていく必要があります。</p>

	<p>本委員会でもいろいろと考えていただいておりますが、さらに深く考えていただいて議論を進めていかないといけないと思います。資料の「どがいじゃろえ地域プラン」も参考にさせていただきながら、次回は具体的に形になるものを作っていかねばと思います。</p>
事務局	<p>本日の意見を整理して計画に落とし込んでいきます。委員からもありましたが、目玉を何にするのか、核になるコンセプトが大事になると思いますので、それを委員会で見つけていければと考えています。委員の皆様のような発言の中から生まれてくるかもしれませんので、どのようなことでもご発言いただければと思います。</p>
委員長	<p>最終的な案を詰めていく必要がありますが、もう少し計画を具体的に詰めることは可能ですか。</p>
事務局	<p>案として方針を整理していますが、千種高校や教育・子育てが中心になるのではないかというイメージを持っています。コンセプトが決まってくると、それに付随してどのように整備するか浮き彫りになってくると思います。</p>
委員長	<p>エーガイヤちくさの空きスペースをいかに有効活用していくか、現在の市民局のところにどのような拠点を整備できるかももう少し詰めていかないと議論が難しいと思います。</p>
上長次長	<p>いろいろと意見がでていきますので、3つ目のパターンから教育をコンセプトとして、事務局で案を作って議論いただくということでしょうか。</p>
委員長	<p>複数のパターンを一つにまとめた上で、素案を詰めていただき、ワークショップ形式で意見を書きだし、皆で考えていく方法がとれないでしょうか。</p>
事務局	<p>方法や様式など考えてみます。</p>
千種市民局副局長	<p>現市民局の位置に郵便局機能が入る可能性は考えられますか。</p>
委員	<p>郵便局機能に限らず、集いの場として考えれば、拠点施設に人が用事をする部分がなければ建物を整備しただけになります。中間とりまとめ案の3つ目のパターンが現実的な気はしますが、市民局がなくなることで商店街の周辺が寂しくなる気もしますので、行政窓口がどこに位置するかは大きな問題だと思います。実現するかは別にして、人が集う場所として、行政窓口や商店、金融機関があるというのも集客の方法だと思います。また、例えば商店街の商店が協同で場所を借りて新たな施設に入ることになれば、そこへ若者が集まって買い物をしたり、高齢者が用事をすませたついでに買い物できるなど、必要なことが完結して利便性が高くなります。そこでテナント料を収入として得ることができれば、それも一つの方法かと思います。見せていただいたショートステイ機能も、この施設の建設時から人口など</p>

	<p>状況も変わっていますが、施設をもっと開放すればいろいろと考えられるのではないかと思います。学校の寮にという話もありますし、一般利用もしていただき、温泉とセットで宿泊してもらえたり、レストランで食事していただいたり活用できます。</p> <p>話は変わりますが、環境がよく似た地域同士で連携しようと、智頭急行線で何か取組ができないかということで、鳥取県と岡山県の郵便局が集まる機会がありました。岡山県の方から、宮本武蔵の里周辺は、大河ドラマで取り上げられたときは観光客が一気に増加したが、今は大きく減ってしまったという話がありました。最初に大きく打ち出すことも大事だと思いますが、少しずつでもいいので、後々のことを考えて、継続していけることが大事だと思います。</p>
委員長	<p>武蔵の里は、大河ドラマの影響でいっとき非常に観光客も多かったようですが、そのときだけで継続性がなければ困ります。エーガイヤちくさのショートステイも高齢化の時代を見越して整備されていますが、過去に利用があったのは2人だけです。ふれあいサロンで飲食した後に宿泊できるようにすれば利用価値も高まり、忘年会などでの利用もあると思います。これから拠点づくりを進めていく上で、利用価値を考えながら進めていく必要があります。</p>
委員	<p>エーガイヤちくさのショートステイ機能は目的が決まっているために、他の用途には使えないのでしょうか。冬場はスキー客で賑わっていますが、スキー客はなんでもスマートフォンで調べます。写真で情報をネット上にアップしておくだけでも宿泊利用があるのではないかと思います。愛知県江南市にも研修センターで宿泊客を受け入れしているところがあり、料金が安いこともあります。一年先まで予約でいっぱいになっています。ネット上に情報を流すだけで若者から予約も入るのではないのでしょうか。宿泊客が増えればリピーターが増加して、千種町のことも広まっていくと思いますが、そのために他の目的に使用できるようにならないかと思います。</p>
委員長	<p>エーガイヤちくさは補助金の制約がないため、使い方はある程度自由にできるのではないかと思います。ちくさふれあいサロンで飲食した後に宿泊できるようにするのもいいのではないかと思います。</p>
委員	<p>消防団や自治会でも波賀町の施設を利用しています。送迎があるということもありますが、宿泊が可能ですので利用率が高くなります。</p>
委員	<p>千種町でパワースポットなど縁のある場所はないでしょうか。鳥取県日野町では、金持（かもち）神社という神社があり、受験シーズンなどには多くの参拝があり、関連グッズも良く売られています。拠点に観光的な要素を入れていく場合に、うまく繋げて情報発信できればと思います。地域活性化がうまくいっているところは、分かりやすく目印になるものがあります。千種町でも地域が徹底して取組んでいるのが分かれば興味をもっていただきやすいと思います。</p>
	5 その他
	6 閉会

副委員長	委員会の開催場所が変わり気持ちを新たに意見交換ができました。次回に向けて各委員の皆様には、拠点づくりの計画について考えておいていただきたいと思います。本日はありがとうございました。
------	--

(8) 第9回 検討委員会

1 開催日時	平成30年4月11日(水) 19時00分から21時00分	
2 開催場所	エーガイヤちくさ 千種保健福祉センター 会議室	
3 出席委員 (敬称略)	船曳順市、亀井欣也、藤原 隆、森井俊二、鳥居 薫、波多野好則、猶原一典、金本まみ、金本 己世始、鳥羽敏美、清水一女、奥田慎一、磯崎伸彦、井岡陽子	(欠席委員) 杉本千里
4 事務局出席者	千種市民局：津村局長、清水副局長、岸本副課長、藤原専門員 企画総務部：坂根部長 地域創生課：西嶋課長、藤原副課長、前田係長、朱山主査	
5 議題等	1 論点整理と検討方針(案)について	2 計画素案の整理について
6 議事要旨		
千種市民局副局長	1 開 会	
委員長	2 あいさつ 自身の経験上、計画というものは5年、10年先を見据えて計画していかなければいけないと思っています。そういった中で、今回の計画についても5年、10年先を見据えた計画としていきたいと思っていますのでよろしくお願いします。 また、この後に紹介があると思いますが、事務局においては人事異動で一部の担当者が変更となっています。	
坂根部長	人事異動による担当者変更についての経緯説明及び担当者紹介	
委員長	3 報告・協議事項 (1) 前回議事録の確認 前回の会議録について何か意見があればお願いします。 ー意見なしー	
事務局	(2) 論点整理と検討方針(案)について 千種生活圏の拠点づくりの考え方について、前回の検討委員会での意見を整理し、論点とその検討方針について説明	
事務局	(3) 計画素案の整理について これまでの検討委員会での議論・意見を踏まえた千種生活圏の拠点づくりの考え方の計画素案(事務局案)について説明	
委員	資料では、行政機能の位置づけについて、「学習・団体支援」「地域づくり」「行政窓口」「産業・社会資本」の4つに分類されているが、	

<p>企画総務部長</p>	<p>将来的には「行政窓口」の機能は機械化などで縮小されるのではないですか。これほどのスペースは必要ないのではないですか。</p> <p>施設におけるスペースということでは、言われるように将来的には縮小されるということが考えられるかと思いますが、今回の議論について、スペースについてではなく、行政の機能をどこに配置するのがいいのかということについて議論したいと考えています。冒頭にもご説明させていただいたように拠点づくりを考えていく中で、1箇所ですべての機能を集約することは敷地的にも難しいのではないかと、拠点が2箇所でもいいのではないかとこのまでの議論を踏まえ、今回の提案をまとめてきております。みなさんが活動の拠点とされたい場所や行政の日常的なサービスが受けられる場所などをそれぞれどちらの拠点にあるのが望ましいのかといった議論を今回させていただいて、その結果を持って次回に繋げていきたいと思っています。</p>
<p>委員</p>	<p>提案にあるように行政の機能が分散された場合、行政として人員の確保は可能なのですか。</p>
<p>企画総務部長</p>	<p>人員については、現在の行政のやり方ではどの部署もこれ以上削減できないというギリギリのところまでできていると個人的には考えている。そのため、今の人員をどのように配置するかを考えていきたいです。</p>
<p>委員長</p>	<p>事務局からありましたように、今回は市民局にはどういった機能があればいいか、エーガイヤにはどういった機能があればいいかを議論いただき、次回の会議に繋げていただければいいかと思っています。</p>
<p>委員</p>	<p>事務局の説明で、現在の市民局にいろんな機能を持ってくると敷地が足りないということであったが、センターちくさの敷地も含めると十分敷地があるように思うのですがどうですか。</p>
<p>事務局</p>	<p>お配りしています地図で確認いたしますと市民局、センターちくさ、旧図書館の敷地については、縦長な形状となっており、また、センターちくさと図書館の間には道が通っているような形状となっています。敷地の形状や拠点施設の規模等を考えますと、建物は建つのかかもしれませんが、駐車場の確保は困難ではないかと考えています。また、敷地と国道429号との段差についてもこの敷地の課題と捉えています。予算をかければ、こういった課題を解決する手法はあるのかかもしれませんが、現状のままでは困難であると考えています。</p>
<p>委員長</p>	<p>これからの時代は施設を建てるだけでなく、維持管理費のことも考えていかなければいけない。どうしても市民局の敷地で施設を建設しなければならないということではなく、自分たちの将来の負担についても考えて、市民局やエーガイヤを上手く使う方法を考えていけばいいのではないかと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>当初、参考に他府県の事例を見たときに拠点づくりに買い物ができる場所が入っている事例を見た記憶があります。私は農業をしており、農作物を販売する場所がほしいということもありますが、波賀などで農協が撤退している状況などを考えると、拠点づくりの中で、買</p>

<p>企画総務部長</p>	<p>い物できる場所や農作物を販売することができる場所を考えていくことは必要だと思うが、そういった買い物ができる場所を拠点の中に入れていくことは可能なのですか。そのことによって必要なスペースも変わってくるため、考え方も変わってくると思います。</p> <p>参考に見ていただいた事例では、地域の生活を支えるために、地域の方が運営する買い物施設の事例を見ていただいたと思います。事例のような施設を運営することについては、地域の中で運営組織の立ち上げなど、もう少し議論の深堀が必要だと思いますが、そのことを度外視して、市の施設を利用するという点だけを考えれば、目的外使用ということで、言われるような買い物スペースなどを設けることは可能です。ただし、そういった目的外使用をする際には、もう少しそのことに特化した議論が必要になってくると考えます。検討委員会の中で、買い物スペースの必要性について検討されれば、将来的に拠点施設の中に取り入れることは十分可能だと思います。</p>
<p>千種市民局副局長</p>	<p>ここでグループに別れて協議いただければと思います。 3グループに別れて協議</p> <p>グループ協議の結果について、各グループより報告</p> <p>◆ グループ①の報告</p> <p>グループの中では、現在の市民局とエーガイヤは既存のままでいいのではないかという意見と事務局案のようにエーガイヤに行政機能移し2つの拠点で考える方がいいのではないかという2つの意見で最終的にはまとまりませんでした。そういった中で、次のような意見がありました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 行政機能として、戸籍と福祉は一緒にすることが必要ではないか。 ・ エーガイヤに行政機能が移ってしまうことで、商店街の活気が失われてしまうのではないか。 ・ エーガイヤに行政機能が移ってしまうことのイメージができない。 <p>◆ グループ②の報告</p> <p>グループでの意見としては、市民局とエーガイヤは既存のままでいいのではということになりました。そういった中で、次のような意見がありました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ まちの中心が今の市民局だから、その機能が移ってしまうということは、商店街から中心がなくなってしまうということになってしまふ。これまで、市民局にいられていた方が、エーガイヤに行ってしまうと商店街にとって大きな影響があるので現状のままだいいのではないか。 ・ 行政とは連携をとっていくことが必要であるが、その機能が離れてしまうことに不安感が強い。 ・ 今の検討委員会では施設の話しになりがちだが、拠点づくりということで、これからの取組について話し合っていけば、機能という点も見えてくるのではないか。 <p>◆ グループ③の報告</p> <p>グループとしての意見はまとまらなかったが、次のような意見がありました。</p>

副委員長	<ul style="list-style-type: none">• もともと市民局の位置が中心地であるということで、現在の位置にある意味を踏まえて、市民局に集約した方がいいのではないか。• 市民局の位置が移ってしまうと商店街が寂れてしまうのではないか。• 防災的な観点からエーガイヤの位置では橋を渡らなければならない、問題があるのではないか。• 観光のPRが上手くできていないので、エーガイヤを観光の拠点としてはどうか。• 図書館の機能を市民局に集約して、空いたスペースを子育ての環境として利用できないか。• 市民局ではスペースがないということであるが、立体駐車場にするなどで市民局の位置でも可能ではないか。 <p>4 その他</p> <p>5 閉会</p> <p>検討委員会も残り僅かとなってきていますが、最後まで協議を尽くしたいと思いますので、よろしくお願いします。</p>
------	--

(9) 第 10 回 検討委員会

1 開催日時	平成 30 年 5 月 9 日 (水) 19 時 00 分から 21 時 30 分	
2 開催場所	エーガイヤちくさ 千種保健福祉センター 会議室	
3 出席委員 (敬称略)	船曳順市、亀井欣也、藤原 隆、森井俊二、鳥居 薫、波多野好則、猶原一典、金本まみ、金本己世始、鳥羽敏美、清水一女、奥田慎一、磯崎伸彦、井岡陽子、杉本千里	(欠席委員)
4 事務局出席者	千種市民局：津村局長、清水副局長、岸本副課長、藤原専門員 企画総務部：坂根部長、水口次長 地域創生課：西嶋課長、藤原副課長、前田係長、朱山主査	
5 議題等	1 前回グループ討議内容の整理 2 拠点施設の役割および機能に関する考え方	3 計画素案について
6 議事要旨		
千種市民局副局長	1 開 会	
委員長	2 あいさつ 皆さんお疲れのところお集まりいただきありがとうございます。特に農家の方は田植えの時期で、大変お疲れかと思いますが、よろしくお願ひします。 今年、クリンソウが例年より早く見頃を迎えそうです。クリンソウは自然に生えたもので、自然に生えたものはいつかなくなってしまう。今日、毎年転々と生える場所が変わるクリンソウを歩いて見て回りながら、いつまで続くかなと思ひました。 さて、この検討委員会は今日で 10 回目となりますので、そろそろ結論を出していきたいと考えています。今回、事務局からこれまでの協議を踏まえた計画素案を持ってきていただひているので、それを説明していただひ、この会を進めさせていただひたいと思ひますのでよろしくお願ひします。	
委員長	3 報告・協議事項 (1) 前回グループ討議内容の整理 前回のグループ討議内容の整理について、事務局より説明をお願ひします。	
事務局	前回のグループ討議内容の整理について資料に基づき説明	
委員長	(2) 拠点施設の役割および機能に関する考え方 上記と関係する内容なので、引き続き事務局より説明をお願ひします。	
事務局	前回意見が出された拠点施設の役割および機能の案について、それぞれの案の効果や課題の検討結果を資料に基づき説明	

委員長	<p>(3) 計画素案について 次も関連する内容になるので、引き続き事務局より説明をお願いします。質問はこの説明が終わってからまとめてお聞きします。</p>
事務局	<p>これまでの協議を集約した「千種生活圏の拠点づくりの考え方」計画素案について説明</p>
委員長	<p>これまでの説明で質問はありますか。</p>
委員	<p>今日示していただいた資料は、これまでの検討委員会で私たちが出した意見を上手く取りまとめていただいていると思う。 ただ、これまでの検討委員会での協議の期間が十分であるのか、ばたばたと協議が進んで、結局、検討委員会は何だったのかとなってしまうのではないかと懸念している。 今のスケジュールでは、平成 32 年度に建設工事が完了し、平成 33 年度から供用開始というスケジュールになっているが、これは合併特例債の期限に合わせたスケジュールである。この度、合併特例債の期限が5年延長になることが決定したので、スケジュールを組み直してはどうか。検討委員会の責任転換ではないが、千種町民全体に計画について十分理解していただき、意見を吸い上げて計画を作っていくべきではないか。</p>
企画総務部長	<p>今回お示した計画素案は、これまで9回の検討委員会を重ねて、皆さんからいただいた意見を基に作成している。検討委員会の当初は千種のまちづくりを今後どうしていくのかという議論から始めていただいて、その後、それぞれの施設に持たせる機能について議論をしていただいた。 その中で、今回お示ししている計画素案では、これまでの意見を踏まえ、将来のことを考えて窓口機能と保健福祉の機能をエーガイヤちくさに集約する案を提案させていただいているので、そのことについて意見をいただければと思う。 今回の計画素案が完成形ではなく、これからも委員の皆さんにさらに意見をいただきながら作り上げていきたい。 そして、委員の皆さんと作り上げた計画素案について、タウンミーティングで市民の皆さんにお示しするので、その効果的な方法について考えていきたい。市民の皆さんへの周知の方法についても委員の皆さんから意見いただければと思う。 合併特例債の期間延長に伴うスケジュールの見直しについては、結果として供用開始が遅れてしまうことはあるかもしれないが、今の時点で、当初の目標期限を延期してしまうと間延びしてしまうことが懸念されるので、今の目標をもって進めたい。</p>
委員	<p>スケジュールの見直しについて、闇雲に期間を延ばしてほしいということではなく、タウンミーティングをして意見を吸い上げるには、今のスケジュールでは期間が短いと考えているので、市民の皆さんに十分周知するための期間を再度検討していただいて、スケジュールを見直してほしいということである。</p>

企画総務部長	<p>タウンミーティングで市民の皆さんの意見をお聞きすることはもともと予定しており、今年の秋ごろからさせていただきます。そのタウンミーティングの結果、市民の皆さんへの周知が不十分であるという議論になるようであれば、その時は期限延長を検討させていただくが、今の時点で、合併特例債の期限延長に伴って、目標としている期限を延長することは考えておりません。</p>
委員	<p>この検討委員会は計画を早く作り上げるのが目的ではなく、いいものを作り上げることが目的だと思う。そのためには、市民の皆さんの意見を広く聞くことが必要であると考えます。</p>
委員長	<p>委員の気持ちは分かるが、物事（計画）をまとめるには、多ければまとまるというものではない。やはり、選ばれた委員で責任をもってまとめていくことが必要である。多くの意見を聞くことは重要であるが、全ての意見を取り入れた計画を作り上げることは不可能であり、多くの意見を聞くほど取りまとめが難しくなってしまう。「三人寄れば文殊の知恵」ということわざがあるが、この検討委員会に選ばれた委員で意見を出し合えば、大体の意見は集約できると思う。この委員会で意見を取りまとめて、最終的に市で計画を作成していただければいいと思う。</p> <p>また、期間を延ばせばいいものができるということではないと思う。期間を区切って、その時にやるべきことを期限内にするという目標をもって進めていくべきだと思う。</p> <p>多くの意見を聞くことは重要なので、委員の皆さんには、それぞれに市民の皆さんの意見を聞いて、この検討委員会で発言していただきたい。</p> <p>タウンミーティングにおいては、市民の皆さんに検討委員会で出た意見についても周知してほしい。</p> <p>家を建てることを例にしても、入念に計画して建てた家でも完成したら100%満足できることはない。今回の計画もみんなが100%満足できるというのは不可能である。その中で、できる限り満足できるものを作り上げるようにしたい。</p>
企画総務部長	<p>委員長が言われるように、限られた中で、頂いた意見を全て計画に取り入れていくことは難しいと考えている。その中で、できる限り期待に沿うものを作り上げるにはどうしたらいいのかということで、この検討委員会の中で計画の素案を作り上げていただきたい。</p> <p>一宮町の事例では、計画だけではイメージし難いということもあり、計画素案を委員会で取りまとめてから、拠点施設のイメージを絵にしたものを作らせていただき、そのうえで市民の方から意見をいただいた。そして、修正を加えながら、進めている。</p> <p>千種町においても、絵が出来上がった段階で、例えば子育て世代の方々などに意見をいただきながら、修正を加えて作り上げていきたいと考えているので、この検討委員会で計画の素案が取りまとまった段階で次のステップに進むことをご理解いただきたい。</p>
委員長	<p>坂根部長が言われるように、言葉だけではなかなか理解できないと思う。絵があれば、理解しやすく、いろんな意見が出てくるかもしれない。</p>
委員	<p>これまで協議してきた内容で、今回提案いただいているのは分かるが、本当にこれでいいのかという不安があるので、市民の方の意見を</p>

	聞きたい。
委員長	気持ちは分かるが、これまでの間にも市民の方に意見を求める場面はあったが、なかなか積極的な意見が出てきていないのも事実である。やはり、この検討委員会の委員に任命されている以上、その責任をもって決めていただきたい。
副委員長	今提案いただいているような、具体的な内容が出てきたのはここ数回の検討委員会でのことである。まだ、議論も深まっていないので、今提案いただいている4案で決めていくことはできないのではないかな。
委員長	今回示されている4案は、これまでの検討委員会での委員の皆さんの意見をまとめて、事務局により具体化されたものである。決してこの4案の中で決めてほしいということではなく、これを基にさらに議論をしていくための資料だと理解いただきたい。
委員	意見がまとまらないと思うので、市民の方にこの計画についてどう思うかアンケートを取ってはどうか。実際、市民の方が拠点づくりにどれくらい意見を持っているのかアンケートの反響で分かるし、4案についての投票などのアンケートにすれば、今後、検討員会でさらに議論していくうえで、参考になると思う。
委員長	アンケートの実施については可能か。
企画総務部長	可能である。アンケートの手法等については、市民局と連携して検討させていただき、委員長、副委員長と相談のうえで実施することで了承いただければと思う。
副委員長	市民の方の意見を聞く前に、今回示していただいた4案について、検討委員会でもう少し議論を深める方がいいのではないかな。
委員	次回の検討委員会で今回の4案について議論をして、どこまでまとめられるか分からないが、検討委員会としてまとめられるところまで提案をまとめたらうえて、アンケートを取ってはどうか。
企画総務部長	市としても、今回お示しした案について、この検討委員会で議論を深めていただきたい。そのうえで、次のステップに進む方法を検討いただいて、アンケートが必要であるということであれば、アンケートを取らせていただく。
副委員長	アンケートをとるとなると、本年6月に提案を取りまとめるという期限は難しいと思うが、期限が伸びてもいいのかな。
企画総務部長	1から2カ月程度伸びることは可能であると考えている。

委員長	今日の資料を熟読していただいたら、内容を理解してもらえと思う。理解していただいたうえで、それぞれの機能をどこに持っていかをこの委員会で議論していただきたい。
企画総務部長	次回の委員会で、今回事務局よりお示した案について皆さんで議論をしていただき、提案をまとめていただいたうえで、市民の方に提案に賛同いただけるかというようなアンケートをとるということではいかがでしょうか。
委員	了承
委員	次回の委員会で、もう少し4案について分かりやすくしていただいた資料を提示していただきたい。
事務局	了承
	4 その他
	5 閉会
副委員長	次回、具体的な議論ができるようにご協力をお願いします。お疲れ様でした。

(10) 第 11 回 検討委員会

1 開催日時	平成 30 年 6 月 6 日 (水) 19 時 00 分から 20 時 30 分	
2 開催場所	エーガイヤちくさ 千種保健福祉センター 会議室	
3 出席委員 (敬称略)	船曳順市、亀井欣也、藤原 隆、鳥居 薫、波多野好則、猶原一典、金本己世始、 鳥羽敏美、清水一女、奥田慎一、井岡陽子	(欠席委員) 森井俊二、磯崎伸彦、金本まみ、杉本千里
4 事務局出席者	千種市民局：津村市民局長、清水副局長、岸本副課長、藤原専門員 企画総務部：坂根部長、水口次長 地域創生課：西嶋課長、藤原副課長、前田係長、朱山主査	
5 議題等	1 生活圏の拠点づくり計画について	
6 議事要旨		
千種市民局副局長	1 開 会	
委員長	2 あいさつ 皆さまお疲れ様です。いよいよ梅雨に入ったということで、これからぐずついた天気が続くという中で、本日は第 11 回の千種生活圏の拠点づくり検討委員会にお集まりいただき、ありがとうございます。 さて、前回の委員会では、計画案について市民の皆さまにアンケートをとってはどうかという話しになりましたが、私も前回から今日までの間に連合自治会長をはじめ、いろいろな方のご意見を伺う中で、「なぜアンケートをするのか」「検討委員会の中で決めていけばいい」などのご意見をいただきました。 私たちはこれまでの検討委員会の中で、拠点づくりに関する多くの意見を出してきており、意見は出尽くしていると考えています。 私たちの役割として、拠点づくりについて千種の市民を代表して、意見を出すことだと考えていますので、今後は、私たちの意見を基に市において検討していただき、まとめていただければいいと考えています。ということで、本日はこれまでの意見を踏まえて市の拠点づくりの考え方を説明していただき、そのことについて議論させていただくことをもって、独断と偏見ではありますが、この検討委員会での議論を締めさせていただきたいと考えています。	
企画総務部長	3 生活圏の拠点づくり計画について 市の生活圏の拠点づくりの考えについて説明 まず、これまでの間、検討委員会で何を決めていただくかなど、方向性を皆さまにはっきりとお示しできていなかったことについて反省しているところです。先ほども委員長からありましたように、この検討委員会でいただいた意見や拠点づくりの方向性を具体的に計画に盛り込んでいくことは市の責務だと思っています。 この検討委員会ですべてを決めていかなければいけないという必要以上のご負担を皆さまが感じてしまうような誤解を招いてしまったことにつきましてお詫び申し上げます。 千種の拠点となる施設を考えていくうえで、市民の皆さまがどのように考えられているのかを盛り込んでいくことは当然必要なことで	

ありますので、各方面でご活躍させている皆さまに委員として参加いただき、この検討委員会を立ち上げさせていただきました。

そして、これまでの検討委員会で、将来に向かって千種のまちづくりをどうしていけばいいかななどを議論いただき、様々なご意見を頂戴しました。今後は、市の責務で皆さまの意見をできる限り計画に盛り込んでいくように進めていきたいと考えています。

しかしながら、いただいたすべての意見を計画に盛り込んでいくことは予算的なことや市の方針によってできない可能性もあります。そのことにつきまして、ご意見と食い違う内容になることも考えられますが、その都度、議論しながら修正をしていきたいと考えています。

さて、拠点づくりにつきましては、この検討委員会の当初にもご説明しましたとおり「にぎわいの拠点」「集いの拠点」「まちづくりの拠点」となる環境整備を図っていきながら、少しでも人口減少が緩やかになることを目標として進めていきたいと考えています。

そのうえで、これまでの検討委員会でのご意見を考えますと、拠点施設については1か所であることが望ましいと、多くの委員の皆さまが思われていると考えています。そのことにつきましては、市としても1か所が望ましいと考えています。

しかしながら、市民局の位置では敷地が狭く、全ての機能を集約した場合にどうしても駐車場が狭くなってしまい、健診などで駐車場を使用する際に影響が出るのが懸念されます。また、エーガイヤちくさの位置につきましては、千種川及び西山川に挟まれた敷地ということで、これ以上の拡張をしていく余地がない敷地となります。その中で、エーガイヤちくさが保健福祉施設として整備された経緯も踏まえて、その機能を維持しながら全ての機能を集約することはできないと考えています。

これらのことを踏まえますと、千種地域におきましては「市民局の拠点」と「エーガイヤちくさの拠点」の2か所を拠点として、その中間にあります商店街の再生を視野に入れながら、2か所の拠点を線で結ぶ取組を進めていく必要があると考えています。

2か所の拠点の機能につきまして、「市民局の拠点」においては、皆さまからもご意見がありました「集いの場」や「学習の場」にしたいと考えており、生涯学習とまちづくりの機能を持たせたいと考えています。そして「エーガイヤちくさの拠点」においては、既に皆さまに馴染みのある保健福祉の機能を維持しながら、将来の高齢化社会を見越して、より円滑に手続きをしていただけるように行政窓口の機能を追加したいと考えています。

先ほど委員長からもありましたように、市としましては検討委員会を今日で一区切りとし、次のステップに進みたいと考えています。

次のステップに進むということになりますと、皆さまからいただいた意見をさらに精査し、以前に一度お示ししました「千種生活圏の拠点づくりの考え方」という資料を修正して、再度皆さまに確認いただくこととなります。

その「千種生活圏の拠点づくりの考え方」を基に、「基本計画」の作成に移らせていただきます。

「基本計画」では、拠点施設がイメージできる図面も作成しますので、その図面が出来上がった段階で、まずこの検討委員会の皆さまに見ていただきたいと考えています。また、各種団体の皆さまの意見を伺う場も設けたいと思っています。

前回の検討委員会で、この検討委員会で全て決めていかないといけないという責任感からアンケートをするというように言っていたのではないかと思います。皆さまからのご意見をできる限り計画に盛り込んでいくことは市の責務でさせていただきますので、ご提案のありましたアンケートにつきましては見送り、次のステップに進ませていただきたいと考えています。

委員長

これまでの議事録を読んでいただいたら、大体同じような話しの繰り返しになっているなという印象です。同じ議論を繰り返す中で、私たちも少し疲れてきたなという思いもあり、また、検討委員会で決めることの責任も感じる中で、前回アンケートをしてはどうかというこ

	<p>とになりました。</p> <p>しかし、私は、図面が出来上がってからのの方がいろいろと意見が出やすいということもありますし、先ほど部長が言われたように進めていただければいいのではないかと考えています。</p> <p>もちろん、私たちが出した意見が全て盛り込まれるということは不可能に近いと思いますが、できる限り参考にして進めていただきたいと思います。</p> <p>また、もし図面が出来上がった時点で、私たちの意見があまり反映されていないということがあれば、その時は図面の書き直しを含め、意見させていただきます。</p> <p>そういったことで、検討委員の皆さまにもご理解いただければと考えています。</p> <p>このことについて、皆さまの意見を伺わせていただきたいと思います。</p>
副委員長	<p>これまで検討委員会の使命は何なのか分からないままでしたが、先ほど説明いただいて理解することができました。</p> <p>初めのうちは、ゼロからのスタートという説明だったので、検討委員会で建物の形なども含め全て決めていかなければならないという思いで、これまで議論をしてきました。ようやくここ数回で具体的な議論もできてきた矢先に今日の話だったので、これでいいのかなと思うところはありますが、部長の説明を聞くと仕方ないのかと考えています。</p>
企画総務部長	<p>今日でこの検討委員会が終わりということではなく、一区切りさせていただきたいと考えています。いただいた意見の中で、できること、できないことはありますが、できる限り皆さまのご意見を盛り込んだ計画を作らせていただき、図面ができた時点で、再度皆さまにお集まりいただき、お示しさせていただきたいと考えています。</p>
委員長	<p>この検討委員会も今日で一区切りということなので、今日出席いただいている皆さまからそれぞれ意見いただければと思います。</p> <p>以下、検討委員の意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ エーガイヤちくさにおいては、現在、診療所、保健福祉課、社会福祉協議会が入っており、これまで3者でこの建物のスペースを有効活用していこうと議論してきたこともありますので、行政窓口の機能を移されるにあたり、そういったことも考慮いただきたい。 ・ 木造にこだわらず、狭いスペースを有効活用できる高層の建物の図面も描いてもらいたい。 ・ 行政としては考え難いことなのかもしれないが、施設の維持管理費を捻出できるような収入源をもった施設としてもらいたい。 ・ 市民が気楽に入れるような場所（若い方が集まれる場所、学生が勉強できる場所）や多くの人が集まれるホールは必要だと思う。 ・ 拠点には核になるものが必要だと思う。市から提案いただいている「市民局の拠点」では集いの場所ということで、必ずしも市民が必要なものではないと思うので、2つの拠点にそれぞれ市民が必ず訪れる行政窓口の機能を作ってもらいたい。そのうえで、手続きで2か所を行き来しないで済むようにしてもらいたい。 ・ 木造にされるのであれば、そのことについて議論もできたと思う。木造は、耐震性など防災上どうかと思う。

- 商店街に住んでいるが、診療所、農協がそれぞれ南に行ってしまいだんだん家の周りが寂しくなっている。以前は、なんとなく市民局も南へ行くのかなという思いだったが、この委員会を通じて我々世代も頑張りたいと思えるようになった。
- 子どもが遊べる場所がないと子育て世代は集まらないと思う。エーガイヤちくさにも遊ぶスペースはあるが、活動されている場なので、許可をいただいて使わないといけないと思うところがあり、子どもの年齢が上がるにつれて、少しずつ利用する機会が減ってしまう。新しい拠点には、許可をとらなくても利用できるような、気兼ねせずに使える子どもの遊びの場があればいいと思う。
- 駐車が狭いと子どもの乗り降りにも気を使ってしまうので、できる限り広いスペースがほしいと思う。
- コンビニなどあれば、子どもが喉が渇いたり、お腹がすいた時に買ってあげられるので便利だと思う。自販機でもいいが、お茶を飲んだり、お菓子を食べたりできるスペースがあればいいと思う。
- エーガイヤちくさには、大きなホールがないので、大人数が集まる場合はセンターちくさを利用している。たくさんの方が入れる大きなホールがあれば、学習の場や研修の機会、イベントなどで活用できると思う。また、そういった施設ができることで、市民の方を含め、働く人のモチベーションが上がることに繋がり、地域づくりに繋がると思う。
- 2つの拠点があるという強みを活かしてもらえたらと思う。
- 家族で話していると家族全員エーガイヤちくさに全ての機能を集約する方がいいという意見でした。利用する方もそうですが、職員の方も1つの拠点の方がいいのではないかとと思う。
- 野菜を作って販売したいと考えているので、そういった拠点になってほしいと思う。
- コンビニのように24時間開いている一人暮らしの高齢者の拠り所になるような拠点であってほしいと思う。
- コンビニやスーパーなど買い物ができる機能があればと思う。
- 文化的なことなど今取り組んでおられることで、生きがいとされているような取組ができるような施設にしてもらいたい。
- もの作りができる拠点や商工会青年部などが活動できるようなスペースがほしい。
- 消防の車庫については、消防団とよく相談してもらって決めてもらいたい。
- これからの人口減少を考えて、維持管理費の掛からないようなコンパクトな施設としてもらいたい。
- 木造の建物は強度の問題があると思う。
- 拠点として、交通の要衝として機能するようにしないとけないと思う。
- 確定申告など商工会業務も遂行できるようにしてほしい。

4 その他

5 閉会

副委員長 検討委員の皆さまには、昨年8月から大変な思いをしていただいたと思います。とりあえず、今日で一区切りということで、長い間ありがとうございました。

副委員長

2 視察記録（第6回 検討委員会）【鳥取県西伯郡南部町】【島根県松江市八雲地域】

1 視察日時	平成 30 年 1 月 15 日（月） 10 時 00 分から 16 時 00 分	
2 視 察 先	① 鳥取県西伯郡南部町役場「生涯活躍のまちの実現に向けた取組」 ② 島根県松江市八雲社会福祉センター「アルバホール」	
3 対 応	南部町役場 企画政策課 企画監 中田達彦 氏 松江市役所 生涯学習課 企画調整係長 長谷川和弘 氏 専門企画員 魚谷栄子 氏 松枝氏役所八雲支所 地域振興課長 山野 明 氏 松江市八雲公民館 館長 石倉知樹 氏	
3 出席委員 (敬称略)	船曳順市、亀井欣也、藤原 隆、鳥居 薫、波多野好則	(欠席委員) 森井俊二、猶原一典、磯崎伸彦、金本まみ、金本己世始、 鳥羽敏美、清水一女、奥田慎一、井岡陽子、杉本千里
4 事務局出席者	千種市民局：清水副局長、村上副課長 企画総務部：上長次長 地域創生課：山本課長、前田主査	

5 視察概要

◆南部町の概要と取組

平成 16 年 10 月 1 日に旧会見町・旧西伯町の 2 町合併により誕生。平成 17 年に 12,272 人であった人口は、平成 29 年時点で 11,090 人に減少しているが、社会増減はほぼ横ばいで転出者数は鈍化している。高齢化率は約 35%と高めだが、充実した医療・福祉環境として、人口 1 万人当たりの病床数は 174.1 床（全国平均 142 床）と多い。H27.12 に環境省の重要里地里山に町全域が指定（全域指定は西日本で唯一）。農林業を通じた農村環境の保全が全体的に進められており、里地里山に特徴的な種が数多く見られる。

地域の強みを活かして「地元住民も移住者も暮らしやすい」まちづくりをめざす。町の中心部を拠点エリアとして、空き家などを活用しながら、交流拠点施設を整備。また、まちづくりを担う NPO 法人を設立し、地域で必要とされる人材の誘致などに取組み、移住と交流の促進により、地域の活性化を進めている。

◆松江市八雲地域の拠点施設

平成 17 年 3 月 31 日に旧松江市等と合併。人口は約 7,000 人で、平成 6 年に建築された文化ホールを改修し、福祉と文化の拠点施設として再整備。社会福祉協議会、公民館、生涯学習・文化ホール、松江市八雲支所という 4 つの機能を集約し、地域活動の場、学生や子育て世代の憩いの場として活用されている。

この施設は、自主運営方式で館長のみ松江市教育委員会から派遣されており、その他の職員の地域の方が従事されている。年間の維持管理費は 3,000 万円程度で、多くを人件費（館長除く）が占めている。また、公民館の事務局が町内の各種団体の事務局も担っている。



<【南部町】空き家を活用した多目的な交流拠点「えん処 米や」>



<【松江市】福祉と文化の複合拠点施設>



<【松江市】八雲支所窓口>